

283
46

高知高等學校一覽

自昭和八年
至今九年

高知高等學校一覽

(第十一年度)

自昭和八年
至昭和九年

高知高等學校一覽 第十一年度

目次

第一	沿革略	一〇九
第二	學年曆	一〇九
第三	學則	一〇九
第一	總則	一〇九
第二	學科課程及教授時數	一一〇
第三	學年學期式日及休業日	一一〇
第四	入學在學轉學休學退學及除名	一一〇
第五	戒	一一〇
第六	課程ノ修了及卒業	一一一
第七	服制	一一一
第八	寄宿及通學	一一一
第九	考查料入學料授業料寄宿料	一一一



發行所寄贈本

自昭和八年四月
至昭和九年三月

目次

第四	教育綱領	二〇
第五	細則	二一
一	學則施行細則	二一
第一章	隨意科目及選擇科目	二一
第二章	入學在學轉學休學退學及除名	二一
第三章	編制	二六
第四章	試驗修了及卒業	二七
第五章	授業料及寄宿料	三五
第六章	制服	三五
第七章	寄宿	三八
第八章	通學	四二
二	生徒心得	四三
三	校務分掌規程	四五
四	評議員規程	五四
五	文書處理規程	五四

六	校旗取扱方	五七
七	物品會計規程細則	五七
八	職員服務規程	六四
九	圖書規程	六九
十	事務當直心得	七三
第六	職員	七五
第七	前職員	八五
第八	生徒	九一
一	生徒氏名	九一
二	生徒本籍府縣別表	一〇四
三	生徒學歷別表	一〇八
第九	卒業生	一〇九
一	卒業生	一〇九
二	卒業生科別表	一四三
第十	關係法規	一四四

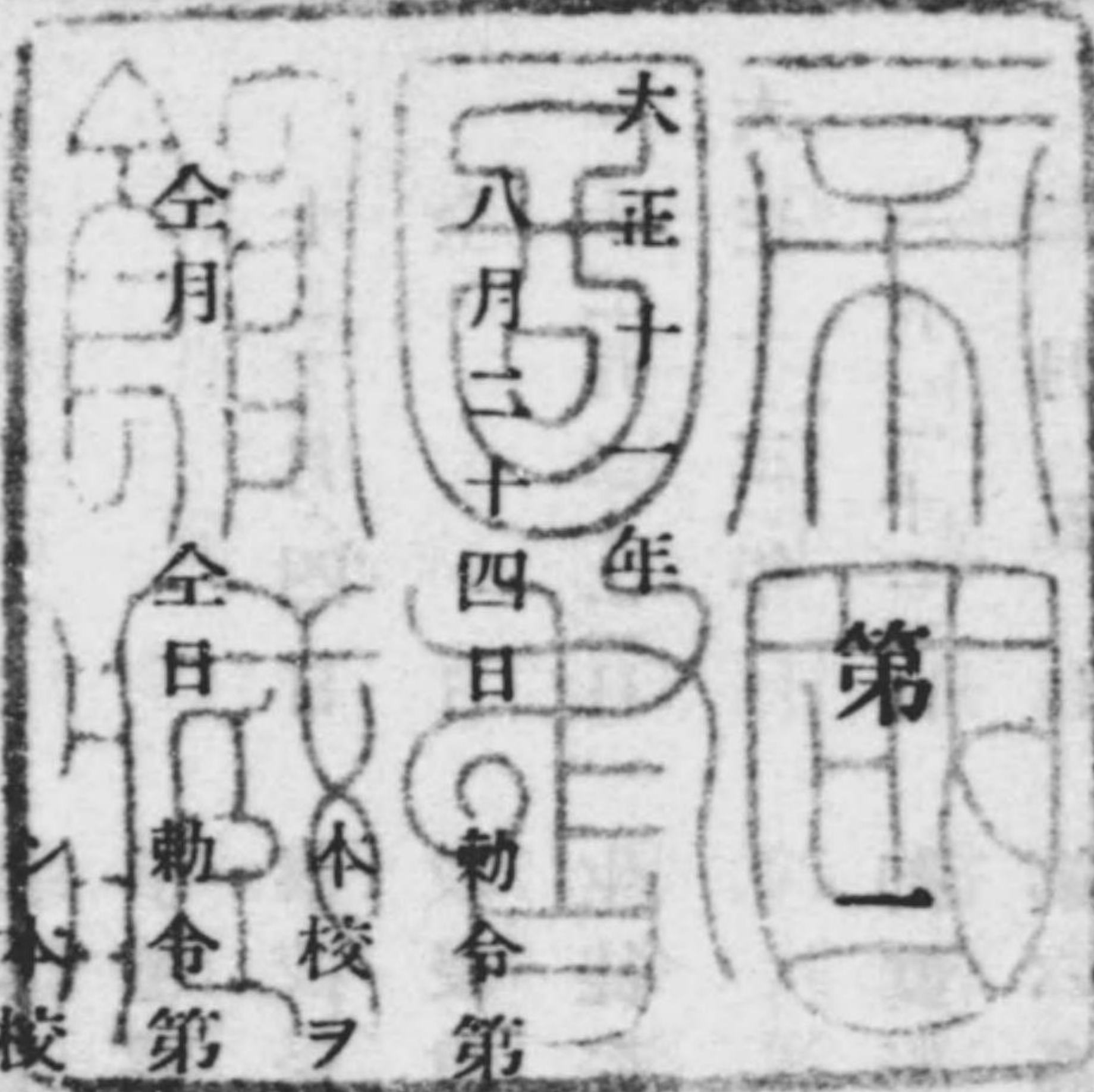
一	高等學校令 (抄)	一四四
二	高等學校規程 (抄)	一四六
三	文部省直轄諸學校官制 (抄)	一六一
四	文部省直轄諸學校職員定員令 (抄)	一六三
五	文部省直轄諸學校長職務規程	一六三
六	帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校屬外國人使用ニ關スル件	一六五
七	高等學校高等科入學資格試驗規程	一六五
八	文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル件	一六六
九	文部省直轄諸學校外國人特別入學規程	一六七
一〇	高等學校高等科學力檢定規程	一六八
一一	學生生徒兒童身體檢査規程 (抄)	一六九
一二	學生生徒兒童身體檢査規程上ノ發育概評決定標準 (抄)	一七四
一三	行幸啓ノ節學生生徒敬禮方	一七五

附 錄

一	對抗競技ニ關スル申合事項	一七六
二	學校運動選手及運動競技會ニ關スル協定事項 (大正十五年四月十五日參加決定)	一七七
三	高知高等學校學友會會則	一八二
四	高知高等學校同窓會會則	一八九

高知高等學校一覽

沿革略



大正十一年八月二十四日勅令第三百九十一號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正セラレ本校ヲ設置セラル

全月全日勅令第三百九十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正セラル

九月六日 文部省告示第五二二號ヲ以テ事務所ヲ當分ノ内文部省ニ置ク

大正十二年

一月十六日 文部省告示第三號ヲ以テ高知市内高知縣立高知城東中學校内ニ

本校事務所ヲ置ク

三月三十一日 本校學則ヲ制定ス

一	高知高等學校	大正十一年八月二十四日	勅令第三百九十一號
二	高知高等學校	大正十一年八月二十四日	勅令第三百九十二號
三	高知高等學校	大正十二年一月十六日	文部省告示第三號
四	高知高等學校	大正十二年一月十六日	文部省告示第五二二號
五	高知高等學校	大正十二年三月三十一日	文部省告示第三號

四月九日 勅令第一六一號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員定員中教授「九人」ヲ「十六人」ニ改メラル

全 十二日 高知市江ノ口本校新築校舎ニ於テ事務取扱ヲ開始ス（文部省告示第三二〇號）

全 十六日 本校第一回生徒入學宣誓式ヲ舉行ス

全 十七日 本校授業ヲ開始ス

六月十二日 梨本宮殿下本校ニ御成アリ授業ヲ台覽アラセラレ尙月桂樹ヲ御手植遊サル

十二月四日 學校長江部淳夫卒去

全 日 教授鈴木卓苗學校長事務取扱ヲ命セラル

十二月二十二日 生徒控所新築竣工

大正十三年

一月二十二日 御眞影拜戴

二月五日 第六高等學校教授正五位勳四等内藤馬藏學校長ニ任セラル

全 日 鈴木卓苗學校長事務取扱ヲ免セラル

三月二十二日 教育勅語謄本拜受

四月十一日 第二回入學宣誓式ヲ舉行ス

全 十九日 寄宿寮新築竣工

全 二十日 特別教室新築竣工

全 二十八日 勅令第九十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員定員中教授「十六人」ヲ「二十四人」ニ書記「四人」ヲ「五人」ニ改メラレ新ニ助教「二人」ヲ加ヘラル

五月五日 寄宿寮開寮シ生徒ヲ收容ス

十二月二十五日 學則施行細則中第四章試驗終了卒業ニ關スル規程及校務分掌規程ヲ改正ス

大正十四年

二月十日 講堂書庫柔劍道場雨天體操場竣工

三月三十一日 學則中轉科轉類ニ關スル規程寄宿寮入寮規程授業料改正並授業料寄宿料徴収規程改正

四月一日 勅令第八十一號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本

- 全 十一日 校職員定員中助教授「二人」ヲ「一人」ニ改メラル
- 全 十一日 圖書館開館
- 全 二十五日 第三回入學宣誓式ヲ舉行ス
- 全 二十五日 勅令第四百十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員定員中「教授二十四人」ヲ「三十人」ニ「助教授一人」ヲ「四人」ニ書記「五人」ヲ「六人」ニ改メラル
- 七月六日 學則施行細則第二十三條理科評点科目表一部改正
- 十一月三日 開校式舉行、此ノ日ヲ以テ本校創立記念日トス
- 十二月十二日 御眞影奉安庫 溫室竣工
- 全 十六日 學則施行細則校務分掌規程第二章中ニ評議員規程ヲ追加
- 大正十五年
- 三月十二日 第一回卒業證書授與式舉行
- 四月十七日 第四回入學宣誓式舉行
- 全 三十日 學則施行細則第三章編制規程中學級總代ノ會議ニ關スル規程ヲ追加シ第二十四條理科評点科目表一部改正

- 十一月三日 校旗制定式舉行
- 全 五日 學則施行細則第二章中第八條第四號ヲ改メ第四章中第二十五條第四號ヲ第五號ニ繰リ下ケ新ニ第四號追加
- 全 十五日 水泳用プール寄附受領

昭和二年

- 三月十四日 第二回卒業証書授與式舉行
- 四月十三日 學校長内藤馬藏依願免本官
- 全 十八日 文部省督學官從四位勳四等西川順之學校長ニ任セラル
- 全 十八日 第五回入學宣誓式舉行
- 十二月二十七日 勅令第三六六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員定員中助手一名ヲ加ヘラル

昭和三年

- 三月一日 學則施行細則第一章第三條、第九條及第三十一條ヲ改正
- 全 十五日 第三回卒業証書授與式舉行
- 四月十二日 學則第六條及第十條改正

- 全 日 學則施行細則第一章第八條中第二號及生徒心得第三章第十一條ヲ改正第十二條及第十三條ヲ削除シ第十四條ヲ第十二條ニ改メ以下各條ヲ順次繰上ク
- 全 十四日 第六回入學宣誓式舉行
- 六月二十五日 學則施行細則第二章第三章第四章及第六章中改正
- 七月二十五日 ヨリ八月四日迄文部省主催ノ中等學校教員等ノ數學科講習會ヲ本校ニ開催ス
- 十月九日 天皇皇后兩陛下ノ御寫眞ヲ下賜セララル
- 校旗取扱方制定
- 全 二十九日 文部省直轄諸學校官制中改正公布アリ勅令第二百五十六號ヲ以テ「生徒監」ヲ「生徒主事」ニ改メ「書記」ノ次ニ「生徒主事補」ヲ加ヘラル尙職員定員令中改正公布アリ勅令第二百五十七號ヲ以テ生徒主事及生徒主事補各一人ヲ加ヘラル
- 十一月十日 即位禮奉祝式舉行
- 十一月十七日 御大禮奉祝ノタメ生徒一同記念植樹ヲ爲ス

昭和四年

- 三月十五日 第四回卒業証書授與式舉行
- 四月五日 學則第三十六條及第四十二條ヲ改正
- 全 十一日 第七回入學宣誓式舉行
- 全 二十四日 學則第七條、第九條、第三十四條、第四十三條改正
- 九月三十日 校旗取扱方第四條改正
- 昭和五年
- 二月十七日 學則第三十七條ノ次ニ新ニ第三十八條乃至第四十條ヲ追加シ第三十八條以下ヲ順次繰下ケ第四十五條ヲ改正
- 三月十五日 第五回卒業証書授與式舉行
- 全 三十一日 寄宿舎昇降口竣工
- 四月十一日 第八回入學宣誓式舉行
- 全 十八日 細則、生徒心得第三章「缺課遅刻」トアルヲ「願届」ニ改メ第十一條ヲ改正、新ニ第十二條ヲ追加シ第十二條ヲ第十三條ニ改メ以下條項ヲ順次繰下ケ且ツ校務分掌規程第二條ヲ改正、第

昭和六年

七條ノ次ニ第八條以下第九、第十ノ二條ヲ追加ス

二月五日 天皇皇后兩陛下ノ御寫眞ヲ奉還シ新ニ下賜セララル

三月十五日 第六回卒業証書授與式舉行

四月十一日 第九回入學宣誓式舉行

七月二日 弓道場竣工

昭和七年

三月十五日 第七回卒業証書授與式舉行

全三十一日 學校長西川順之松本高等學校長ニ任セララル

全 日 第七高等學校造士館教授從四位勳三等右倉小三郎學校長ニ任セララル

四月一日 學則第二十二條第三十六條及第四十一條以下各條中改正、新ニ

第四十五條ヲ加ヘ以下各條ヲ順次繰下ク

細則、學則施行細則中第二條ヲ改正、第三條削除、以下各條ヲ順次繰上ケ第六條中ノ三ヲ削除、第二十二條ノ表中及第五十條

表中改正ス

全 十一日 第九回入學宣誓式舉行

十一月十六日 ヨリ十九日迄四日間文部省及本校主催ノ公民教育公座ヲ高知商

工會議所ニ開催ス

十二月二十七日 勅令第三九五號ヲ以テ文部省直轄諸學校ノ定員令ヲ改正シ本校

職員定員中助教「四人」ヲ「三人」ニ改メ助手欄「一人」ヲ

消ラル

昭和八年

三月十五日 第八回卒業証書授與式舉行

四月十一日 第十回入學宣誓式舉行

第二學年 曆

昭和八年

四月十日 春期休業終

全 十一日 入學宣誓式始業式

全 十二日 第一學期授業開始
 七 月 五日 第一學期授業終了
 全 六 日 夏期休業始
 九 月 五日 夏期休業終
 全 六 日 第二學期授業開始
 十二月二十四日 第二學期授業終了
 全 二十五日 冬期休業始
 昭和九年

一 月 七日 冬期休業終
 全 八 日 第三學期授業開始
 三 月 十日 第三學期授業終了
 全 十六日 春期休業始

第三學則

(大正十二年三月三十一日 文部大臣許可)

第一章 總則

第一條 本校ニ大正七年勅令第三百八十九號高等學校令及大正八年文部省第八號高等學校規程ニ基ク高等科ヲ置ク

第二章 學科課程及教授時數

第二條 本校ノ學科課程及教授時數ハ高等學校規程ノ定ムル所ニ依ル

第三條 本校ノ外國語ハ英語及獨語トス其ノ類別左ノ如シ

- 文科甲類 英語ヲ第一外國語トスルモノ
- 文科乙類 獨語ヲ第一外國語トスルモノ
- 理科甲類 英語ヲ第一外國語トスルモノ
- 理科乙類 獨語ヲ第一外國語トスルモノ

第三章 學年、學期、式日及休業日

第四條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第五條 學年ヲ分チテ三學期トス

第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日マテ

第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日マテ

第三學期 一月一日ヨリ三月三十一日マテ

第六條 式日ハ左ノ如シ

- 一 入學宣誓式
- 一 四大節拜費式
- 一 本校創立記念式
- 一 卒業式

第七條 休業日ハ左ノ如シ

- 一 日 曜 日
- 一 大祭日祝日
- 一 創立記念日 十一月三日
- 一 夏期休業 七月六日ヨリ九月五日マテ
- 一 冬期休業 十二月二十五日ヨリ一月七日マテ
- 一 春期休業 三月十六日ヨリ四月十日マテ

第四章 入學、在學、轉學、休學、退學及除名

第八條 入學ノ時期ハ學年ノ始トス

第九條 入學志願者ノ手續及選抜試験ニ關スル規定ハ毎年別ニ之ヲ定ム

第十條 入學ノ許可ヲ得タルモノハ別ニ定ムル期間内ニ次ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 宣誓ヲナスコト
- 二 保証人一名連署ヲ以テ本校所定ノ在學証書ヲ差出スコト
但シ保証人ハ父兄トシ父兄ナキ者ハ之ニ代リテ其ノ責ニ任スヘキ者タルヘシ
- 三 履歷書及戶籍謄本ヲ差出スコト

前項ノ手續ヲ爲ササル者ニ對シテハ入學ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第十一條 在學ノママ志願ニ依リ一箇年間陸軍現役ニ服セントスル者ハ保証人連署ヲ以テ豫メ本校ニ届出ツヘシ

第十二條 在學ノママ他ノ高等學校又ハ其他ノ學校ニ入學ヲ出願セントスルモノハ保証人連署ヲ以テ豫メ本校ノ許可ヲ受クヘシ
前項ニ依リ他ノ學校ニ入學ヲ許サレタル者ハ其入學期日前ニ於テ第十九條ニ依リ退學ノ手續ヲナスヘシ
第二學年以上ニ轉科轉類ヲ願出ツル者アル時ハ缺員アル場合ニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項願書ニハ保証人連署スヘシ

前項ノ外轉科轉類ニ關スル規定ハ細則ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第十三條 在學中身分上ニ異動アルトキハ其ノ都度直ニ届出ツヘシ

但シ戶籍ニ關スル場合ハ戶籍抄本ヲ添附スヘシ

第十四條 轉學ハ關係高等學校長ノ協議ニヨリ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第十五條 疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ由リ三箇月以上修學スル能ハサル見込ノ

者ニシテ其ノ事由ヲ詳記シ保証人ノ連署ヲ以テ休學ヲ願出ツルトキハ詮議ノ上

之ヲ許可スルコトアルヘシ

但シ疾病ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第十六條 陸軍又ハ海軍現役ニ服スル者若ハ召集ニ應スル者其ノ服役又ハ召集ノ

間ハ休學トス

第十七條 休學ハ當該學年間ニ限ル

但シ前條ニ依ルモノハ此ノ限ニアラス

第十八條 第十五條ニヨリ休學ヲ許可シタル者ハ次學年ノ始ヨリ其ノ原學年ニ編

入ス

第十六條ニ依リ休學シタル者ハ服役滿期又ハ召集解除後一箇月以内ニ於テ原學
年ニ編入ス

第十九條 疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ由リ退學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記
シ保証人ノ連署ヲ以テ願出ツヘシ

疾病ニ由ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第二十條 願ニヨリ退學シタル者退學シタル時ヨリ一箇年以内ニ於テ再入學ヲ願

出ツルトキハ第二學年以上ニ限り詮議ノ上許可スルコトアルヘシ

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ諭旨シテ退學ヲ願出テシム

一 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

二 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

三 引續キ一箇年以上出席セサルモノ

四 正當ノ理由ナク又ハ届出ヲナサスシテ引續キ一箇月以上出席セサル者

五 出席常ナラサル者

第二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ之ヲ除名ス

一 引續キ二箇年間同一學年ニ在リテ猶進級又ハ卒業セサル者

但シ兵役ノ爲メ同一學年ニ在ル年數ハ之ヲ算入セス

二 前條ノ諭旨ノ後十五日ニ及フモ猶退學願ヲ差出ササル者

三 授業料又ハ寄宿料ノ滯納ニ週間以上ニ及フ者

四 第十二條第一項ノ手續ヲ經スシテ他ノ學校ニ入學ヲ出願シタル者

第二十三條 退學又ハ除名ニ關シテハ臨機ノ取扱ヲ爲スコトアルヘシ

第五章 懲 戒

第二十四條 校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ生徒タルノ本分ヲ失ヘリト認ムヘ

キ行爲アル者ハ學校長之ヲ懲戒ス懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭停學及退校トス

退校ニ處セラレタル者ニ對シ情狀ニヨリテハ其ノ執行ヲ猶豫スルコトアルヘシ

第六章 課程ノ修了及卒業

第二十五條 各學年末ニ於テ生徒ノ學業成績ヲ考查シ其ノ學年課程ノ修了又ハ卒業ヲ定ム

第二十六條 各學年ノ課程修了ハ當該學年ニ於ケル(一)努力(二)平常成績(三)試験成績ヲ考查シテ之ヲ定ム

但シ學科目ノ種類ニヨリ試験ヲ行ハサルコトアルヘシ

第二十七條 卒業成績ハ在學中ノ學業成績ヲ考查シテ之ヲ定ム

所定ノ全學科ヲ履修シ卒業シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第二十八條 試験ハ臨時及定期ニ之ヲ行フ

第二十九條 學業成績ハ科目評点及平均評点ヲ以テ之ヲ表示シ各一百ヲ以テ最高トス

トス

第三十條 成績考查並ニ試験ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 服 制

第三十一條 生徒ハ本校所定ノ帽及服ヲ着用スヘシ

第三十二條 服制ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第八章 寄宿及通學

第三十三條 新ニ入學セル第一學年生徒ハ寄宿會ニ入會スヘキモノトス

但シ本校ノ都合又ハ生徒願出ノ事情ニ依リ通學セシムルコトアルヘシ

第九章 考查料、入學料、授業料、寄宿料

第三十四條 入學志願者ハ考查料金五圓ヲ納付スヘシ

第三十五條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ指定ノ期日マテニ入學料金參圓ヲ納付スヘシ

シ

正當ノ事由ナク前項ノ手續ヲ了セサルモノニ對シテハ其ノ入學許可ヲ取消ス

第三十六條 授業料ハ一學年八拾圓寄宿料ハ一學年貳拾圓トシ之ヲ左ノ三期ニ分チ每學期始業後五日以内ニ納付セシム

第一學期授業料 貳拾四圓 寄宿料 六圓

第二學期授業料 參拾貳圓 寄宿料 八圓

第三學期授業料 貳拾四圓 寄宿料 六圓

昭和三年度以前ニ於テ入學シタル者ノ授業料ハ一學年六拾五圓トシ之ヲ左ノ三期ニ分チ每學期始業後五日以内ニ納付セシム

第一學期 拾九圓五拾錢

第二學期 貳拾六圓

第三學期 拾九圓五拾錢

第三十七條 寄宿料ハ本校寄宿舎ニ入寮セル者ニ限り之ヲ徴収スルモノトス

第三十八條 家庭ノ事情ニ依リ學資ノ支弁困難ナル生徒ニハ平素ノ勤惰性行等ヲ參酌シテ授業料ヲ減額又ハ免除スルコトアルヘシ

第三十九條 授業料ノ減額又ハ免除ヲ受クヘキ生徒ハ學年毎ニ之ヲ定ム但シ學年

ノ中途ニ於テ之ヲ定メタルトキハ次學期分ヨリ之ヲ減免ス

第四十條 授業料ノ減免ハ其ノ必要ナル事情止ミタリト認メタル場合又ハ其ノ減

免ヲ受クル者ニ於テ學業ヲ怠リ若ハ不都合ノ行爲アリタル場合ニハ之ヲ止ムル

コトアルヘシ

前項ノ場合ニ於ケル當該學期分ノ授業料ハ其ノ月分ヨリ之ヲ徴収ス

第四十一條 中途入學セル者ノ當該學期ノ授業料ハ其ノ月分ヨリ之ヲ徴収ス

第四十二條 中途退學者ニ對スル授業料ハ次ノ學期分ヨリ之ヲ徴収セス

第四十三條 學期ノ中途寄宿寮ニ入寮セル者ノ當該學期分ノ寄宿料ハ其ノ月分ヨ

リ之ヲ徴収ス

中途退寮者ニ對スル寄宿料ハ次ノ學期分ヨリ之ヲ徴収セス

第四十四條 授業料ハ缺席停學等ノ爲メニ之ヲ免除スルコトナシ

但シ第十六條ニ依リ休學シタル者ニ對シテハ授業料徴収期ノ前ニ在リテハ次月

分ヨリ其ノ後ニ在リテハ次學期分ヨリ其ノ全額ヲ免除シ其他ノ休學者ニ對シテ

ハ同シク其ノ半額ヲ減額ス

第四十五條 前條但書ニ依リ授業料ヲ減免シタル者休學ノ事故止ミ課業ニ就キタルトキハ當該學期分ノ授業料ハ其ノ月分ヨリ全額ヲ徴収ス

第四十六條 第四十條第二項、第四十一條、第四十三條、第四十四條但書及第四十五條ノ場合ニ於ケル授業料ノ月割額ハ八圓（昭和三年度以前ニ入學シタル者ハ六圓五十錢トシ）寄宿料ノ月割額ハ貳圓トス

第四十七條 既納ノ考査料入學料授業料又ハ寄宿料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス

第四十八條 授業料又ハ寄宿料ノ滯納一週間以上ニ及フトキハ之カ納付ヲ保證人ニ催告シ滯納更ニ一週間以上ニ及フ者ハ之ヲ除名ス

前項ニ依リ除名シタル者ニ對シテハ未納ニ屬スル授業料又ハ寄宿料ハ之ヲ免除スルコトアルヘシ

第四 教育綱領

- 一 自治協同ノ精神ニ依リ愛國奉公ノ實ヲ擧クルコト
- 一 質實剛健ノ氣宇ヲ持シ正義人道ヲ念トスルコト

一 獨創進取ノ習性ヲ養ヒ眞理ヘノ造詣ヲ期スルコト

第五 細則

一 學則施行細則

第一章 隨意科目及選擇科目

第一條 各科各學年ヲ通シ第二外國語ハ隨意科目ナリト雖當分第一外國語ト同等ニ履修セシム

第二條 理科第三學年ノ數學（二）及圖書（二）理科第三學年ノ植物及動物（講義二實驗二）トハ入學出願ノ際其ノ一ヲ選擇セシメ之カ變更ヲ許ササルモノトス

但シ昭和五年度以前ニ入學シタル生徒ニハ第二學年中ニ之ヲ選擇シテ届出テシメ選定シタル學科目ハ第三學年第一學期中ニ之カ變更ヲ願出ツルトキハ詮議ノ上特ニ許可スルコトアルヘシ

第二章 入學、在學、轉學、休學、退學及除名

第三條 高等學校高等科ニ入學シ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且ツ身體檢査ヲ受ケ之ニ合格シタル者タルヘシ

- 一 中學校第四學年ヲ修了シタル者
 - 二 高等學校尋常科ヲ修了シタル者
 - 三 高等學校高等科入學資格試驗檢定ニ合格シタル者
 - 四 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者
 - 五 文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
 - 六 文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者
- 第四條 身體檢査ハ左ノ項目ニ就キ施行スルモノトス
- (一) 身長
 - (二) 體重
 - (三) 言語障害
 - (四) 聽力及耳疾
 - (五) 視力及眼疾
 - (六) 其他ノ疾病
 - (七) 畸形及不具癱疾
- 前記各項目ノ外必要ト認メタル事項ニ就テノ檢査ハ適宜之ヲ行フモノトス
- 第五條 身體檢査ノ結果ハ之ヲ發表セサルモノトス
- 第六條 學則第十條ニ依リ入學ノ許可ヲ得タル者ノ爲スヘキ手續及心得ヘキコト左ノ如シ
- 一 宣誓ハ本校所定ノ帳簿並ニ木札ニ姓名ヲ自署シ宣誓式ニ於テ大要左ノ宣誓

ヲナサシム

宣 誓

生徒 一 同

本校ニ入學ヲ許可セラレタルニ就テハ本校教育ノ精神ヲ體シ生徒タルノ本分ヲ守リ以テ所期ノ目的ヲ貫徹センコトヲ誓フ

年 月 日

高知高等學校第 期入學生總代

氏 名

二 在學證書ノ様式ハ左ノ通り之ヲ定ム

三錢収
入印紙

在 學 證 書 (用紙美濃白紙)

私儀今般御校へ入學御許可相成候ニ付テハ在學中校則ヲ遵守可致ハ勿論
學籍ヲ脱シ候後ト雖モ在學中ニ生シタル一切ノ義務ハ確實ニ履行可致候若
シ違背致候節ハ連署者ニ於テ一切之ヲ引受可申依而證書如斯ニ候也

年 月 日

本籍 道府 縣 應 番 地 華 族 戶 主 (名) 弟 男 等

現住所 本人 氏 名 年 月 日 生

本籍 道府 縣 應 番 地 華 族 業 務 年 月 日 生

現住所 本人トノ關係 氏 名 年 月 日 生

保證人 氏 名 年 月 日 生

高知高等學校長 氏 名 職

三 在學證書及履歷書ハ各正副二通ヲ戶籍謄本ハ一通ヲ差出スヘキモノトス

四 學則第十條第二號ノ保證人ニ變動ヲ生シタル時ハ一週間以内ニ其ノ手續ヲナスヘシ

五 保證人ノ住所ニ異動アリタル時ハ速ニ届出ツヘシ

五 保證人ノ住所ニ異動テリタル時ハ速ニ届出ツヘシ

第七條 學則第十二條第三項ニヨリ轉科轉類セントスル者ハ三月末日迄ニ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

轉科轉類ヲ許可スル場合ハ左ノ條件ニ依ルモノトス

一 轉科轉類ハ同學年若ハ其ノ以下ノ學年ニ限ル

一 第一學年ニ轉科轉類セントスル者ニハ入學選抜試験ヲ受ケシム

一 第二學年以上ニ轉科轉類セントスル者ニハ缺員アル場合ニ限り左ノ方法ニ依リ特ニ許可スルコトアルヘシ

(一) 轉科轉類セントスル者ニ對シテハ從來ノ操行及學業成績ヲ參考シタル

上檢定試験ヲ課ス

檢定試験ハ轉入セントスル科類ニ於ケル前學年以下ノ全學科目ニ付之ヲ課スルモノトス但シ轉科轉類セントスル者ノ既修シタル學科目ニシテ其ノ内容程度及每週教授時數ニ於テ同等以上ト認ムヘキ場合ハ當該學科目ニ限り試験ヲ課セサルコトヲ得

(二) 轉科轉類ノ時期ハ學年ノ始トス

第八條 學則第十五條ニヨリ休學願出ノ者ニハ當該學期ノ授業料其ノ他ヲ完納セシメタル後詮議ノ上之ヲ許可スルモノトス其ノ場合ハ許可證ヲ下附スヘシ但シ學則第十六條ニヨル者ハ此限ニアラス

第九條 凡テ休學明ケノ者ハ其ノ滿期前ニ夫々復校ノ打合セヲナスヘキモノトス

第十條 疾病ニヨル休學者ノ復校ニハ校醫ノ健康診斷ヲ要スルモノトス

第十一條 學則第十九條ニヨル退學願出ノ者ニハ授業料其ノ他ヲ完納セシメタル後詮議ノ上之ヲ許可スルモノトス

第十二條 學則第二十一條各項第二十二條第一項及第二項ニヨル者ハ學則第二十条ノ願出ヲナスコトヲ得ス

第十三條 轉學休學退學除名ノ場合ニ於テハ保證人ニモ通告ス

第三章 編制

第十四條 學級ハ第一學年ノ始ニ編制シ之ヲ組ト稱ス

組ハ第三學年ヲ通シテ變更セサルヲ常例トス

第十五條 各學級ニ學級主任一名及學級總代二名（正副）ヲ置ク學級主任ハ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

學級總代ハ各學級生徒ノ互選シタル正副各二名ノ候補者ニツキ學校長之ヲ命ス但シ第一學年ニアリテハ第一學期間ハ互選ニヨラスシテ學校長之ヲ命ス

第十六條 學級總代ハ學級主任ノ指導ノ下ニ其ノ學級ニ關スル諸般ノ要務ニ當ルモノトス

第十七條 學級總代ハ生徒主事ノ召集ニ應シ會議ヲ開キ本校生徒ノ風紀ノ維持及肅正ニ任ズルモノトス

第十八條 學級總代ノ互選及任命ハ各學年ノ始ニ於テ之ヲ行ヒ其ノ任期ハ其ノ學年間トス但シ第一學年ニアリテハ第二學期ノ始ニ於テ之ヲ行フ

第四章 試驗、修了及卒業

第十九條 試驗ヲ分チテ左ノ二種トス

臨時試驗

定期試驗

臨時試驗ハ之ヲ必要トスル學科ニツキ每學期一回以上施行スルモノニシテ其ノ期日ハ擔任教官之ヲ定メ施行後之ヲ教務課ニ通知スヘシ

期日ヲ豫メ生徒ニ告知セントスルトキハ先ツ學級主任ト打合ハスヘキモノトス

定期試験ハ別ニ時間ヲ定メテ之ヲ行フ
 第一次定期試験ハ第一學期ニ於テ履修セル部分ニ就キ之ヲ行フ
 第二次定期試験ハ第二學期ニ於テ履修セル部分ニ就キ之ヲ行フ
 第三次定期試験ハ第三學期ニ於テ履修セル部分並ニ當該學年間履修セル所ニ就キ之ヲ行フ

第二十條 試験ノ成績ハ評点及評號ヲ以テ表示スルモノトス
 評点ハ壹百点ヲ以テ満点トス

第二十一條 學業成績ヲ分チテ學期成績、學年成績及卒業成績トス其ノ表示法左ノ如シ

- 一 學期成績各科評点並平均評点
 - 二 學年成績各學期成績ノ和ヲ三除シタルモノ
 - 三 卒業成績各學年成績ノ和ヲ三除シタルモノ
- 生徒ニ示ス成績ハ之ヲ評號及概評ヲ以テス
- 第二十二條 文理科各學年學科課程並ニ學業成績評点科目ヲ定ムルコト左ノ如シ

文科學科課程並評点科目表

學科類別	第一學年		第二學年		第三學年	
	科目	數時週每	科目	數時週每	科目	數時週每
修身	國民實踐道德	〇一	國民實踐道德	〇一	同上	〇一
國語及漢文	講文法、作文讀	三六	講文法、作文讀	三五	同上	三五
英語	會作譯話文解	三三	會作譯話文解	三一	同上	三一
獨語	文譯法解	一一	會文譯法解	一〇	同上	一〇
歷史	日本史	一一	東洋史	二五	西洋史	二四
地理	ノ世界各國ノ現狀	一一	同上	一一	同上	一一
哲學概說					大要	二三
心理及論理			論理	一一	心理	一一

計	體操	自然科學	數學	經濟及	學年	
					第一學年	第二學年
三	三	二	三			
	及教練 武體操	地生 物質及	諸論 大要			
二	一	二	一			
三	同上	同上	同上			
一	一	一	一			
三	三	三		二		
	教練 體操	化物 理學及		法		
二	一	一		制		
三	同上	同上		上		
一	一	一		二		
三	同			經		
	上			濟		
二	一			一		
三	同上			同上		
一	一			一		

理科學科課程並評点科目表

英 語	漢 文	國 語	修 身	學 科		學 年
				甲 類	乙 類	
八	四	一	數時週每	數目科	第一學年	
會作譯	講讀作文	國實 民道 德	學科 課程	課程科	第一學年	
話文解	同上	同上	數目科	課程科	第二學年	
三	二	一	數時週每	數目科	第二學年	
三	同上	同上	數目科	課程科	第二學年	
三	同上	同上	數目科	課程科	第三學年	
一	二	一	數時週每	數目科	第三學年	
會作譯	同上	同上	數目科	課程科	第三學年	
話文解	同上	同上	數目科	課程科	第三學年	
三	二	一	數時週每	數目科	第三學年	
三	同上	同上	數目科	課程科	第三學年	
一	一	一	數目科	課程科	第三學年	

計	體操	圖 畫	經濟及	心 理	地 質	礦 物	動 物	植 物	化 學	物 理	數 學	獨 語	學 科		學 年
													甲 類	乙 類	
三	三	二	二		二	二	二	二			四	四	數時週每	數目科	第一學年
	及教練 武體操	立平自 體面幾 幾何何 畫畫	一 般		二	二	二	二			三	代 體 幾 何 數	文 法 解	課程科	第一學年
二	一	一	一		一	一	一	一			二	會 文 法 解	課程科	第二學年	
三	同上	同上	同上		同上	同上	同上	同上			三	會 文 法 解	課程科	第二學年	
一	一	一	一		一	一	一	一			二	會 文 法 解	課程科	第三學年	
三	三	二		二		二	三	三	三	三	四	譯	課程科	第三學年	
	教練 體操	立 體 幾 何 畫		大 意		動 物 一 般	無 機 化 學	熱 音 力 學 物 響 性	初 等 幾 何	微 分 積 分	一	譯	課程科	第三學年	
二	一	一		一		一	一	一	二	一	一	會 作 譯 解	課程科	第三學年	
三	同上	同上		同上		同上	同上	同上	同上	同上	二	會 作 譯 解	課程科	第三學年	
一	一	一		一		一	一	一	二	二	三	譯	課程科	第三學年	
三	同	(二)				(四)	五	五	(二)	四	四	譯	課程科	第三學年	
	上	上				實 講 動 物 檢 驗 一 二	實 講 有 機 化 學 二 三	實 講 氣 體 化 學 二 三	及 初 等 力 學 分	微 分 積 分	一	譯	課程科	第三學年	
二	一	(一)				一	二	二	(一)	二	一	會 作 譯 解	課程科	第三學年	
三	同上	(二)				(四)	五	五	(二)	四	九	會 作 譯 解	課程科	第三學年	
一	一	(一)				實 講 同 上 二	同上	同上	(一)	二	三	會 作 譯 解	課程科	第三學年	

隨意科ノ科目評点ハ正科ニ準スルモノトス

第二十三條 學年成績ノ評点左ノ條件ノ一ニ該當スル者又ハ努力ヲ缺ケル者ハ之

ヲ原級ニ留ムルモノトス

一 平均評点六十点未満ノモノ

二 一科目ノ評点四十点未満ノモノ

三 科目評点五十点未満ノモノニ二科目以上アルモノ

四 科目評点五十点未満ノモノ一科目ノ外ニ科目評点六十点未満ノモノ二科目以上アルモノ

五 科目評点六十点未満ノモノ科目總數ノ三分ノ一ヲ超ユルモノ

第二十四條 原級ニ留マル者ハ全學科ヲ履修スヘキモノトス

第二十五條 學業成績ヲ査定スル方法ヲ左ノ如ク定ム

一 定期試験ノ評点ト平素点トヲ以テ評点ヲ作ル

二 平素点ハ臨時試験評点及日課点並ニ平素ノ努力ヲ参照シテ之ヲ作ル

三 臨時試験評点ナキ學科ノ平素点ハ日課点及平素ノ努力ヲ参照シテ之ヲ作ル
日課点ナキ場合ハ前項ニ準ス

日課点ナキ場合ハ前項ニ準ス

第二十六條 某科目ノ試験ニ缺席シタルモノニ對シテハ其ノ科目ノ試験成績ヲ零
点トス但シ第二十八條各號ニ該當スルモノヲ除キ其ノ缺席ノ理由正當ナリト認
メタルモノニ對シテハ平素ノ課業ノ成績及勤惰ヲ參酌シテ十分ノ六以内ノ認定
評点ヲ與フルコトアルヘシ
追試験ハ之ヲ行ハス

第二十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ認定評点ヲ與ヘス

一 停學處分ヲ受ケタル爲メ試験ニ缺席シタルモノ

二 當該學年ニ於テ某科目ノ定期試験ニ缺席スルコト二回以上ニ及ヒ特別ノ詮
議ノ餘地ナキモノ

三 試験ニ缺席シタル事由ヲ所定ノ期日内ニ届出テサルモノ

四 當該學期ニ於テ某科目ノ缺課時數特ニ多キモノ

第二十八條 試験ニ於テ不正行爲ヲナシタルモノアルトキハ直チニ受験資格ヲ喪
失セシメ嚴重ニ之ヲ處罰ス

第二十九條 外國語科ニ限り希望者ニ對シ毎年一回競争試験ヲ行ヒ其ノ成績優秀

ナルモノニ對シテハ學籍簿ニ記入シ且ツ之ヲ表彰ス
第三十條 學則第二十七條ノ卒業證書ハ左ノ書式ニヨル

校印	卒業證書	本籍族稱	氏名
			年 月 日生
			右者本校ニ於テ高等科(文)(理)科ノ學科ヲ修メ正ニ其ノ業ヲ卒
			ヘタリ仍テ之ヲ證ス
			年 月 日
		高知高等學校長位勳爵	氏名
番 號			名

第三十一條 各學年ノ修了證書ヲ要スル者アルトキハ其ノ願出ニヨリ之ヲ交付ス
ヘシ

第五章 授業料及寄宿料

第三十二條 授業料及寄宿料ハ現金ヲ以テ納付スヘシ
但シ病氣其他ノ事故ニ依リ歸郷シ又ハ他ノ地方ニ在ル者ハ郵便爲替ヲ以テ納付
スルコトヲ得

第三十三條 已ムヲ得サル事故ノタメニ學則第三十六條ノ納付期日内ニ納付スル
コト能ハサル者ハ其ノ旨會計課ニ申出ツヘシ

第三十四條 學則第三十六條ノ徴収期ヲ過キタル後納付ノ義務ヲ生シタル授業料
又ハ寄宿料ハ其ノ義務ノ生シタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ納付スヘシ

第六章 服 制

第三十五條 登校ニハ必ス制服ヲ着用スヘシ但シ已ムヲ得サル事由ニ依リ制服ヲ
着用スルコト能ハサルトキハ其ノ旨生徒課ニ届出ツヘシ脚絆ハ特ニ指定シタル
場合ノ外着用セサルコトヲ得

外出ノ際ハ制服又ハ制帽及袴ヲ着用スヘシ

第三十六條 新ニ入學セル生徒ニ對シテハ一ヶ月間和服着用ヲ許可ス

第三十七條 夏服ハ五月一日ヨリ十月二十日マテ着用スヘシ



略帽ハ五月一日ヨリ十月二十日マテ着用スルコトヲ得
 但シ式日又ハ体操ノ課業其ノ他特ニ示達シタル場合ニハ必ス正帽ヲ着用スヘシ
 第三十八條 外套ヲ着用スル者ハ乗馬形（絨製黑色又ハ濃紺色）又ハマント（絨
 製黑色又ハ濃紺色）ニ限り之ヲ用フルコトヲ得
 第三十條生徒ノ制服ハ左ノ定メニヨルヘシ

		制 帽			
		略 帽		正 帽	
夏	上	地 質	側 章	眼 庇	頤 紐
鉤 地 質	霜降小倉 黑色煉物（如圖）	麥稈 金色本校徽章（左側結目ニ附ス） 焦茶色（幅約一寸七分）白條二條織込 普通型（高約三寸 縁幅約五寸）	海軍型	黒革 黒革 白條二條	絨製（黑色又ハ濃紺色） 本校徽章金色（如圖）

		制 服					
		冬 服			服		
襟 章	脚 絆	靴	上 衣	上 衣	靴	脚 絆	襟 章
制 式	地 質	地 質	鉤 質	地 質	地 質	地 質	制 式
文科ハL理科ハS 金色	絨又ハ「カツラギ」製 卷脚絆 カーキ色	黒革又ハ黒「ズツク」 編上ゲ又ハ短靴	絨又ハ小倉織、黑色又ハ濃紺色 黑色煉物（如圖） 立襟背廣夏服ニ同シ	立襟背廣（稜角形） 上衣ニ同シ 普通	普通	普通	（ポケットハ上衣ノ左右 兩脇及左胸部ニ各一個）



帽章



釦



略帽



第七章 寄宿寮

第四十條 寄宿寮ハ本校教育ノ根本精神ニ基キ人格ヲ修養シ社會的の生活ヲ習得セシムル所トス

第四十一條 寮生ハ規約ヲ定メ學校長ノ許可ヲ得テ之ヲ實行スルモノトス

規約ヲ以テ定ムヘキ事項左ノ如シ

一 役員選舉ニ關スルコト

一 寮内ノ秩序衛生風儀ニ關スルコト

一 炊事事務炊事監督ニ關スルコト

一 其他社會生活ニ必要ナルコト

第四十二條寮内ニ總務一名副總務一名委員若干名ノ役員ヲ置ク

役員ハ寮生ノ互選シタル候補者ニ就キ學校長之ヲ命ス

第四十三條 役員ハ生徒主事ノ指導ニヨリ寮内整理ノ責ニ任シ規約ノ實行ヲ督勵ス

第四十四條 各室人員ノ配當ハ生徒主事之ヲ定ム

第四十五條 寮内ノ日課時限ハ學校長ノ認可ヲ經テ生徒主事之ヲ定ム

第四十六條 寮生ハ毎夜点檢ヲ受クルモノトス

但シ必要アルトキハ隨時之ヲ行フコトアルヘシ

点檢ノ方法ハ生徒主事之ヲ定ム

第四十七條 外出旅行歸省ニ關シテハ左ノ手續ヲナスヘシ

- 一 外出ノ際門限時刻ニ遅ルヘキ事情アル者ハ豫メ其ノ事由ヲ届ケ置クヘシ
- 一 已ムヲ得サル事故ノ爲メ門限時刻後歸寮シタル者ハ翌朝遅滞ナク其ノ事由ヲ届出ツヘシ

一 已ムヲ得サル事故ノ爲メ門限時刻後特ニ外出セントスル者ハ寮務當直ノ認可ヲ受クヘシ

一 外泊歸省又ハ旅行ノ場合ハ豫メ届出ツヘシ
但シ春夏冬各期ノ休業中ハ此ノ限ニアラス

一 外出中前號ノ手續ヲナス違ナクシテ外泊シタル者ハ速カニ其ノ事由ト居所トヲ通知シ歸寮ノ際更ニ届出ツヘシ

第四十八條 缺席又ハ缺課セントスルトキハ豫メ寮務當直ニ届出ツヘシ

第四十九條 寮生ニ宛テタル郵便物電報等ハ總テ生徒課ヲ經由スルモノトス

第五十條 寮生ハ必ス在寮誓書ヲ差出スヘシ其ノ書式ハ左ノ如シ

印紙

在寮誓書

私儀今般御校寄宿寮ニ入寮致候ニ付テハ寄宿寮諸規則堅ク相守リ可申
此段相誓候也

本籍

寄留地

族稱

戸主名男等

科年類

年 月 日

氏

年 月 日 生

名

右者入寮致候ニ付テハ在寮中ハ勿論退寮後ト雖モ同人在寮中ニ係ル事
件ハ拙者ニ於テ一切負擔可致候也

本人ノ父兄若クハ父兄ノ責ニ任スヘキ者

本籍

寄留地

職業

本人ニ對スル關係

年月日

氏

年月日生

高知高等學校長 氏 名殿

第八章 通學

第五十一條 通學生徒ハ異動ノ有無ニ拘ラス毎學年ノ始ニ於テ本校所定ノ用紙ニ宿所ニ關スル事項ヲ認メ學級主任ヲ經テ生徒課ニ届ケ出ツヘシ

第五十二條 通學生徒宿所ヲ變更シタルトキハ直ニ前條ノ手續ヲナスヘシ

第五十三條 通學生徒ノ宿所ニシテ不適當ト認メタルトキハ之ヲ變更セシム

第五十四條 通學生徒ニシテ在寮生徒ニ面會セントスルトキハ必ス應接室ニ於テ

ナスヘシ

二 生徒心得

第一章 總則

第一條 生徒ハ常ニ其ノ本分ヲ守リ品位ヲ維持スヘシ

第二條 常ニ禮儀ヲ重ンスヘシ

第三條 常ニ質素清潔ヲ旨トスヘシ

第四條 起居運動飲食等ニツキテハ規律節制ヲ主トスヘシ

第五條 公德ヲ尊ヒ公共物ヲ大切ニスヘシ

第六條 學習ハ自發的ニシテ平素ノ努力ソノモノニ價值アルコトヲ了得シ向學ノ

風ヲ盛ニスヘシ

第七條 風紀ヲ紊ス虞アル場所ニハ立入ルヘカラス

第八條 飲酒及喫煙ハ之ヲ慎ムヘシ

喫煙ハ校内所定ノ場所ニ限ル

第二章 教室

第九條 教室ニ於テハ常ニ所定ノ席ニ着クヘシ

第十條 教官定刻ニ至ルモ臨場セサルトキハ教務課ニ就キ其ノ指揮ヲ受クヘシ

第三章 願届

第十一條 疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニヨリ缺席缺課スル者ハ其ノ事由ヲ記シ登校後三日以内ニ届書ヲ生徒課ニ差出スヘシ但シ七日以上引續キ缺席スル者ハ疾病ニアリテハ醫師ノ診断書ヲ添付シ其他ニアリテハ其ノ事由ヲ記シ保證人連署ヲ以テ缺席ノ初日ヨリ十日以内ニ届出ツヘシ

第十二條 生徒ヨリ學校ニ差出スヘキ願届書ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外總テ各自ノ指導ヲ經由スヘキモノトス

第十三條 近親ノ喪ニ丁ルトキハ左ノ日數内ハ忌引トシテ取扱フ

父母ノ喪 七日

祖父母ノ喪 五日

兄弟姊妹ノ喪 五日

會祖父母又ハ伯叔父母ノ喪 三日

第四章 揭示集會出版

第十四條 學校ノ示達ハ速ニ承知スヘキモノナレハ時々揭示ニ注意スヘシ

第十五條 生徒揭示ヲ爲サントスルトキハ豫メ生徒主事ノ承認ヲ受ケ所定ノ場所ニ限り之ヲ貼付スヘシ

第十六條 集會ヲ爲サントスルトキハ之カ代表者ヲ定メ所定ノ用紙ニ其ノ目的日時場所等ヲ記載シ前日中ニ生徒主事ニ届出ツヘシ言論ニ關スル集會ニツキテハ其ノ演題又ハ論題ヲモ添付スヘシ

第十七條 集會ノ爲メ本校々舎ヲ使用セントスルトキハ代表者ヲ定メ生徒課ニ願ヒ出ツヘシ

第十八條 定期ノ集會、學術、運動等ノ會合ヲ創設セントスルトキハ其ノ目的方法等ヲ具シ生徒主事ニ願ヒ出ツヘシ

第十九條 生徒出版物等ヲ發行セントスルトキハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ
第二十條 本校外ノ者ト集會及競技ヲナサントスルトキハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

三 校務分掌規程

第一章 教 育

- 第一條 教授ニ關スル事務ハ學科毎ニ當該教官ノ分擔トス
- 第二條 訓育ニ關スル事務ハ全教官ノ擔任トシ特ニ指導ヲ置キ生徒主事之ヲ主掌ス
- 第三條 教育ニ關スル事務ヲ整理セシムカ爲學科主任及學級主任ヲ置ク
- 第四條 學科主任ハ左ノ學科ニツキ各一人トシ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス
 - 第一學科 修身、哲學概説、心理及論理
 - 第二學科 國語及漢文
 - 第三學科 歴史、地理
 - 第四學科 法制及經濟
 - 第五學科 英語
 - 第六學科 獨語
 - 第七學科 數學
 - 第八學科 物理、自然科學中物理ニ關スル事項
 - 第九學科 化學、自然科學中化學ニ關スル事項

第十學科 植物及動物、鑛物及地質、自然科學中植物及動物並ニ鑛物及地質ニ關スル事項

第十一學科 圖書

第十二學科 體操

第五條 學科主任ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ教務課長ト協議ノ上當該學科授業ニ關スル事務ヲ掌ルモノニシテ其ノ事項概ネ左ノ如シ

- 一 當該學科教授ニ關スル一切ノ事項
- 二 當該學科ノ教授上必要ナル設備ニ關スル一切ノ事項
- 三 其他當該學科ニ關スルコト

第六條 學級主任ハ各學級一人トシ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス其ノ任期ハ一箇年トス

- 第七條 學級主任ノ擔任スヘキ事項概ネ左ノ如シ
- 一 擔任學級生徒ノ訓育ニ關スル事項
 - 二 擔任學級生徒ノ出缺調査ニ關スル事項
 - 三 擔任學級生徒ノ學業成績ニ關スル事項

四 其他擔任學級生徒ニ關スル一切ノ事項

第八條 指導ハ教官中ニ就キ學校長之ヲ委嘱シ全生徒ヲシテ之ニ分屬セシムルモノトス

但シ生徒又ハ父兄ニ於テ特ニ希望ヲ申出ツルコトヲ得

各指導ノ擔任スヘキ生徒數ハ約廿五名トス

第九條 指導ハ生徒主事及學級主任ト連絡シテ其ノ擔任ニ屬スル生徒ノ品行、學業、勤惰、健康其他一身上ノ事ニ關シテ在學中絶エス適宜ニ指導督勵シ生徒ヲシテ其ノ本分ヲ完ウセシメンコトヲ期スルモノトス

第十條 生徒ヨリ學校ニ差出スヘキ願届書ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外總テ各自ノ指導ヲ經山スヘキモノトス

第二章 事務

第一條 事務ヲ分チテ教務課、生徒課、圖書課、庶務課及會計課トス

第二條 各課ニ課長ヲ置キ教務課、圖書課及庶務課ノ課長ハ教授中ヨリ學校長之ヲ命ス

生徒課長ハ生徒主事中ヨリ學校長之ヲ命ス

會計課長ハ會計主任ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 各課所要ノ勤務員ハ學校長適宜之ヲ命ス

第四條 教務課主管事務左ノ如シ

- 一 學科課程、教授要目、教科用圖書、教官ノ分擔及日課ニ關スル事項
- 一 教室及教官室ニ關スル事項
- 一 生徒募集、選抜試験及入學ニ關スル事項
- 一 學級編成ニ關スル事項
- 一 生徒學籍簿ニ關スル事項
- 一 生徒出席簿ニ關スル事項
- 一 試験、進級、及卒業ニ關スル事項
- 一 成績表及成績證明ニ關スル事項
- 一 生徒ノ休學、退學、除名ニ關スル事項
- 一 野外演習、射擊演習及修學旅行ニ關スル事項
- 一 在學證明及兵役ニ關スル事項
- 一 卒業生ノ大學進入ニ關スル事項

- 一 學力檢定ニ關スル事項
- 一 卒業生ニ關スル事項
- 一 其他教務ニ關スル一切ノ事項

第五條

生徒課主管事務左ノ如シ

- 一 生徒ノ指導、監督、訓誨及懲戒ニ關スル事項
- 一 生徒ノ保健及衛生ニ關スル事項
- 一 學校衛生ニ關スル事項
- 一 生徒ノ缺席、缺課、遲刻ニ關スル事項
- 一 生徒ノ身体檢查ニ關スル事項
- 一 生徒ノ學籍及兵役ニ關スル事項
- 一 學級總代ニ關スル事項
- 一 生徒ノ通學及宿所ニ關スル事項
- 一 生徒ノ入寮及退寮ニ關スル事項
- 一 生徒控所ニ關スル事項
- 一 生徒集會所ニ關スル事項

- 一 生徒ノ集會ニ關スル事項
- 一 生徒ノ揭示ニ關スル事項
- 一 學資保管ニ關スル事項
- 一 寄宿寮ノ衛生及警備ニ關スル事項
- 一 寄宿寮ノ炊事監督ニ關スル事項
- 一 寮宿直ニ關スル事項
- 一 校内營業者ニ關スル事項
- 一 生徒ノ品行證明ニ關スル事項
- 一 其他生徒訓育及寄宿寮ニ關スル一切ノ事項

第六條

圖書課主管事務左ノ如シ

- 一 圖書ノ保存及整理ニ關スル事項
- 一 圖書目錄ニ關スル事項
- 一 圖書貸出ニ關スル事項
- 一 書庫及閱覽室ニ關スル事項
- 一 圖書購入ノ調査ニ關スル事項

- 一 新聞、雜誌、年報、一覽等ノ保存及整理ニ關スル事項
- 一 其他圖書ニ關スル一切ノ事項

第七條 庶務課主管事務左ノ如シ

- 一 御眞影ノ奉安及勅語ノ保管ニ關スル事項
- 一 校長ノ官印及校印ノ保管ニ關スル事項
- 一 職員ノ進退、身分及服務ニ關スル事項
- 一 職員ノ叙位叙勳ニ關スル事項
- 一 職員ノ願、伺、届ニ關スル事項
- 一 雇外國人ニ關スル事項
- 一 規則及命令ニ關スル事項
- 一 官報報告、統計、一覽等ニ關スル事項
- 一 會議ニ關スル事項
- 一 公文書處理ニ關スル事項
- 一 文書ノ接受及發送ニ關スル事項
- 一 儀式ニ關スル事項

- 一 校旗ニ關スル事項
- 一 寄附ニ關スル事項
- 一 重要事項ノ記録ニ關スル事項
- 一 事務當直ニ關スル事項
- 一 其他他課ニ屬セサル一切ノ事項

第八條 會計課主管事務左ノ如シ

- 一 歳入、歳出ノ豫算及決算ニ關スル事項
- 一 金錢ノ出納及保管ニ關スル事項
- 一 物品ノ出納及保管ニ關スル事項
- 一 物品ノ購入、不用物品ノ處分、修理等ニ關スル事項
- 一 土地建物ノ營繕ニ關スル事項
- 一 資金ニ關スル事項
- 一 官有財産ニ關スル事項
- 一 會計検査ニ關スル事項
- 一 物品檢閲ニ關スル事項

- 一 備人ニ關スル事項
 - 一 校内一般ノ警備、取締ニ關スル事項
 - 一 電話、電燈、瓦斯、給水及燧爐取扱ニ關スル事項
 - 一 校舎内外ノ洒掃ニ關スル事項
 - 一 其他會計ニ關スル一切ノ事項
 - 第九條 各課ノ主管事項ニシテ他課ニ關聯スルモノニツイテハ合議ノ上之ヲ處理スルモノトス
 - 第十條 各課ニ於テ處理セル重要事項ニ就テハ其ノ都度必ス之ヲ他課ニ通告シ且其ノ概要ヲ學校長ニ具申スヘキモノトス
 - 第十一條 各課所屬職員ハ常務ノ外時宜ニヨリ他課ノ事務ヲ補助スヘシ
- 四 評議員規程
- 第一條 本校ニ評議員若干名ヲ置ク
 - 第二條 評議員ハ本校教授中ヨリ學校長之ヲ命ス
 - 第三條 評議員ハ學校長ノ諮詢ニ應シ意見ヲ開陳ス

五 文書處理規程

- 第一條 本校ニ到達スル文書ハ第六條ニ依ルモノノ外庶務課ニ於テ之ヲ接受シ受付簿ニ登記シ收受ノ番號及月日ヲ記入シ直ニ主掌分課ニ配付シ取扱者ノ印ヲ徵スヘシ
- 二課以上ニ關係アル文書ハ其ノ重キニ從ヒ配付スヘシ
- 第二條 親展書ハ封緘ノママ宛名ニ配付スヘシ
- 第三條 配付ヲ受ケタル文書ニシテ他課主掌ニ屬スルモノアルトキハ之ヲ庶務課ニ還付スヘシ
- 第四條 配付ヲ受ケタル文書ハ速ニ之ヲ調査シ處分案ヲ提出スヘシ
- 事件ノ種類ニ依リ直ニ處分案ヲ提出スル能ハサルトキ又ハ處分案ヲ要スルカ否カノ不明ナルトキハ學校長ニ供閱シテ指揮ヲ受クヘシ
- 第五條 決裁ヲ受ケントスル文書ニシテ他課ニ關聯スル事件ハ該課ニ合議スヘシ
- 決裁済ノ文書ハ主掌分課ニ於テ決裁年月日ヲ記入シ速ニ之ヲ處理スヘシ
- 第六條 左ノ文書ハ庶務課ヲ經由セス主掌分課ニ於テ直ニ接受スヘシ
 - 一 教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類
 - 二 生徒ヨリ差出ス願届書類

- 三 入學志願關係書類
- 四 其他學校長ノ指定シタル書類
- 第七條 左ノ文書ハ主掌課主務者限リ處分スヘシ
 - 一 生徒在學證明ニ關シ徵兵事務ニ關係ナキモノ
 - 二 生徒ノ學業成績證明ニ關スルモノ
 - 三 生徒ノ宿所、入寮、退寮及諸届出ニ關スルモノ
 - 四 物品ノ支給ニ關スルモノ
 - 五 一定ノ例規ニ依ルモノ
 - 第八條 發送ヲ要スル文書ハ庶務課ニ回付スヘシ執務時間外ニ發送ヲ要スル文書アルトキハ當直ニ回付スヘシ
 - 第九條 庶務課ニ於テハ發送文書及原議ニ番號ヲ付シ之ヲ件名簿ニ登記スヘシ
 - 第十條 庶務課ニ於テ郵便、電信ヲ發送シタルトキハ月日、受信名、發信名、料金ヲ登記シ取扱主任檢印スヘシ
 - 第十一條 事件ノ完結シタル文書ニシテ各課ニ保存スヘキモノヲ除ク外ハ總テ之ヲ庶務課ニ回付スヘシ

各分課ニ於テ保存スヘキ文書ハ別ニ定ムル所ノ様式ニ依リ之ヲ編纂シ又ハ整理スヘシ

六 校旗取扱方

(昭和三年十月九日制定
昭和四年九月三十日改正)

- 第一條 校旗ハ所定ノ場所ニ藏置シ庶務課長之ヲ保管ス
- 第二條 校旗ハ儀式及特ニ學校長ノ指定シタル場合ニ出場ス
- 第三條 校旗ハ庶務課長之ヲ取扱ヒ校舎外ニ出ツルトキハ旗手之ヲ捧持シ護衛ヲ付ス
- 第四條 旗手及護衛ハ學友會總務及總務部委員之ニ當ル

七 物品會計規程細則

(昭和四年三月一日
文部大臣許可)

第一章 總則

- 第一條 本校所屬物品ノ保管及出納ハ物品會計規則並ニ文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ此ノ細則ニ依リ處理スヘシ
- 第二條 物品ヲ大別シテ備品、消耗品トシ更ニ備品ノ用途ヲ共用、専用ノ二種トス共用トハ各部ニ於テ共用スルモノヲ云ヒ専用トハ職員各自ニ専用スルモノヲ云フ

但シ備品、消耗品ノ種別ハ學校長之ヲ定ム

第三條 通常所用ノ備品、消耗品ノ員數ハ各部ニ於テ之ヲ豫定シ毎年度始メニ於テ之ヲ會計課ニ回付シ學校長之ヲ決定ス

第四條 常用ノ物品ハ物品會計官吏ニ於テ一ケ年ノ豫定數量ヲ年一回若クハ數回ニ購入シ之ヲ藏置スヘシ

但シ學術用ノ器械、標本等並ニ其ノ他豫定シ難キモノハ此限りニアラス

第二章 出納

第五條 物品ノ出納ハ學校長ノ命令アル文書ニ依リ物品會計官吏之ヲ行フ

第六條 各部ニ於ケル所要ノ物品ハ品目、數量、需用ノ事由及各部名ヲ記載セル

請求書ヲ物品監守者又ハ物品取扱主任者ヲ經由シテ會計課ニ差出スヘシ

第七條 會計課ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ物品會計官吏之ヲ調査シ學校長ノ命令ニ依リ在庫品アルトキハ直ニ之ヲ支給シ購入ヲ要スルモノハ購入ノ手續ヲ經テ之ヲ支給スヘシ

第八條 生産又ハ寄贈ニ係ル物品ハ會計課ニ於テ其ノ品目、數量及價格若クハ評價ヲ付シ物品會計官吏ヲ經テ受入ノ手續ヲナスヘシ

第九條 學術上機械ノ製作、修理等ニ特殊ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ選擇スル場合ハ便宜各部請求者ニ於テ當業者ノ見積書ヲ徴シ之ヲ添付シテ會計課ニ請求スヘシ但シ註文上圖案ヲ要スルモノハ之ヲ添付スヘシ

外國註文品ニシテ見積書ヲ徴スルコト能ハサルトキハ之ニ代フルヘキ調書ヲ添付スヘシ

第十條 物品會計官吏備品ノ受入ヲ爲シタルトキハ直ニ記號、番號ヲ相當ノ箇所ニ付スヘシ

第十一條 物品會計官吏ニ於テ物品ヲ支給セントスルトキハ各部物品監守者又ハ物品取扱主任者ニ交付シ物品請求書相當欄ニ受領證印ヲ徴スヘシ

第十二條 各部使用中ノ物品ニシテ不用ニ屬スルモノアルトキハ直ニ會計課ニ返付スヘシ物品會計官吏ハ之ヲ審査シ爾後使用ニ堪フヘキモノハ保存シ其ノ見込ナキモノハ處分案ヲ具シ學校長ノ裁定ヲ經テ之ヲ處分スヘシ

第三章 保管及監督

第十三條 共用物品ノ監守及取扱ノ責任ヲ明確ナラシムル爲メ各部ニ物品監守者及取扱主任者ヲ置キ其ノ區域左表ノ通り之ヲ定ム

但シ専用物品ハ各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スヘシ

物品監守區域表

區分	監守區域
教務課	教室全部(特別教室ヲ除ク)、教務課、教官室
庶務課	庶務課、御眞影庫、校長室、應接室、宿直室、會議室、講堂、受付室
生徒課	生徒課、生徒控所、柔劍道場、雨天体操場、洗身場、銃器室
圖書課	圖書課、閱覽室、書庫
圖書教室	製圖室
博物教室	生物學ニ屬スル室内、地質鑛物學ニ屬スル室内
物理教室	物理學教室ニ屬スル室内
化學教室	化學教室ニ屬スル室内
會計課	會計課、小使室、其他各課ニ屬セサルモノ
寄宿舎	寄宿舎全部ニ屬スル室内

第十四條 物品監守者又ハ物品取扱主任者物品ノ支給ヲ受ケタル時ハ直ニ所定ノ備品監守簿又ハ消耗品受拂簿ニ記帳シ之ヲ整理スヘシ

第十五條 使用中ノ物品ニ就テハ物品會計官吏ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ管理スヘシ

- 一 備品ハ毎年一回以上備品監守簿ニ依リ現品ヲ査閱ス
- 二 消耗品ハ各學期一回以上消耗品受拂簿ニ依リ其ノ適否ヲ調査シ更ニ現品ノ對照ヲナスヘシ
- 三 前項ノ場合ニ於テ物品ノ亡失、毀損ヲ發見シ又ハ其ノ使用上ニ付意見アルトキハ學校長ニ具狀スヘシ
- 第十六條 各部ニ於テ物品ヲ毀損シ又ハ亡失シタルトキハ物品監守者若クハ物品取扱主任者ハ其ノ實況ヲ詳記シ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ具申スヘシ
- 第十七條 物品監守者又ハ物品取扱主任者ハ物品ノ自然破損ニシテ修理ノ上使用見込アルモノハ之カ修理ヲ會計課ニ請求シ其ノ見込ナキモノハ直ニ返付ノ手續ヲナスヘシ
- 第十八條 第十六條ノ場合ニ於テハ事情ニヨリ物品檢閲委員ノ合議ノ上學校長ノ裁定ニヨリ之ヲ修理セシメ又ハ代品若クハ相當代價ヲ弁償セシムルモノトス

第四章 檢閲

第十九條 學校長ハ物品檢閲委員若干名ヲ置キ本校所有物品ノ保管及使用並ニ消

費上ノ適否ヲ檢閲セシムヘシ

前項ノ檢閲ハ定期及臨時ノ二種トス

第二十條 定期檢閲ハ毎年六月其ノ日時ヲ定メテ之ヲ行ヒ臨時檢閲ハ必要ニ應シ臨時之ヲ行フ

第廿一條 物品檢閲委員ノ檢閲スヘキ事項左ノ如シ

- 一 物品保管方ノ適否
- 一 物品使用及消費ノ適否
- 一 物品亡失、毀損等ノ有無
- 一 帳簿ト現品トノ對照

第廿二條 物品檢閲ノ際ハ在庫品ニアリテハ物品會計官吏又ハ代理者使用中ノ物品ニアリテハ各部物品監守者又ハ物品取扱主任者立會シ檢閲委員ノ質問ニ答フヘシ

第廿三條 物品檢閲委員ニ於テ檢閲上故障ナシト認メタルトキハ帳簿ニ捺印シ若シ故障アリト認メタルトキハ該事實ニ就キ責任者ヨリ顛末書ヲ差出サシメ處分終ルヲ俟テ前記ノ手續ヲナスヘシ

第廿四條 物品檢閲委員其ノ檢閲ヲ終リタルトキハ檢閲ノ狀況ヲ詳記シ學校長ニ申報スヘシ

第五章 帳簿

第廿五條 物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスル為メ左記帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

- 一 物品出納簿
- 一 證憑書類ニ基キ備品、消耗品ニ區分シ其ノ出納ヲ記入シ價格、納入等ヲ明カニス
- 一 備品内譯簿
- 一 命令文書ニ基キ在庫品及使用物品ヲ區分シ其ノ所在ヲ明カニス
- 一 物品請求及返付書
- 一 命令及受領ノ證印アル文書ヲ區分編纂シテ使用ニ供シタル物品ノ所在及其ノ責任者等ヲ明カニス
- 一 郵便切手受拂簿
- 一 郵便切手ノ受拂ヲ明カニス

第廿六條 各部物品監守者ハ備品監守簿ヲ備ヘ使用中ノ物品ノ現在ヲ明カニス
各部物品取扱主任者ハ消耗品受拂簿ヲ備ヘ受拂及物品ノ現在ヲ明カニスヘシ
第廿七條 帳簿様式ハ昭和三年二月文部省訓令第一號用紙類標準規格規程ニ依リ
調製スヘシ
但シ前項ノ規程ニナキモノハ別紙様式ニ據ル

八 職員服務規程

一 教官ノ服務

第一條 本細則ニ於テ教官ト稱スルハ教授、助教授、講師、師範及傭外國人教師
ヲ包括ス
第二條 教官ハ教育事務ヲ擔任ス
第三條 教官ハ學校長ノ命ヲ承ケタル場合ニ於テ學科主任及學級主任ノ事務ニ從
事スヘシ
第四條 教官ハ學校長ノ命ヲ承ケタル場合ニ於テ分課事務ニ從事スヘシ
第五條 教官ハ學校長ノ命ヲ受ケタル場合ニ於テ入學者選拔試験、高等科學力檢
定試験、其他臨時ノ事務ニ從事スヘシ

第六條 教官ハ教授、訓育其ノ他ノ事項ニツキ意見アルトキハ之ヲ學校長ニ其中
スヘシ

第七條 教官ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ報酬ノ有無ヲ問ハス他ノ職務
ニ從事スルコトヲ得ス

第八條 第十條乃至第二十一條ノ規定ハ之ヲ教官ノ服務ニ準用ス

二 事務員ノ服務

第九條 書記雇員及事務囑託ハ上司ノ指揮ヲ承ケテ分課事務ニ從事ス雇員ハ前項
ノ外特別教室ニ勤務セシムルコトアルヘシ

第十條 事務繁劇ナルトキ至急處理ヲ要スルモノアルトキ又ハ所屬上官ヨリ特ニ
命セラレタルトキハ執務時間外若クハ休日ト雖モ執務スヘシ

第十一條 疾病其他已ムヲ得サル事故ニ由リ缺勤スル者ハ當日執務時限前ニ事由
ヲ具シ届出ツヘシ

疾病ノ爲メ缺勤スルコト七日以上ニ涉ルトキハ届書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘ
シ

第十二條 執務時限中發病等ノタメ退出セントスルトキハ上官ノ承認ヲ受クヘシ

- 第十三條 父母ノ祭日ニ休暇ヲ要スルモノハ前日中ニ届出ツヘシ
- 第十四條 親族ノ喪ニ丁リ服忌ヲ受クル者ハ其ノ親族關係ヲ記シ届出ツヘシ
- 第十五條 轉地療養、父母ノ病氣看護、又ハ父母ノ墓參ノ爲メ請暇セムトスル者ハ日限及行先ヲ記シ許可ヲ受クヘシ
- 第十六條 陸軍又ハ海軍ノ召集又ハ簡閲点呼ニ應スル者ハ日限及應召地、部隊、艦艇名等ヲ記シ出發前ニ届出ツヘシ
- 第十七條 賜暇中旅行セントスル者ハ日限及旅行地ヲ記シ出發前ニ届出ツヘシ
- 第十八條 出張ノ命ヲ受ケタル者ハ出發及歸校ノ際其ノ旨ヲ届出テ且歸校後五日以内ニ復命書ヲ差出スヘシ但シ簡單ナル事項ハ口頭ヲ以テ復命スルコトヲ得
- 第十九條 新任者ハ五日以内ニ住所ヲ届出ツヘシ
- 第二十條 住所ヲ移轉シ又ハ氏名、族籍ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度届出ツヘシ
- 第二十一條 官廳其他ヨリ本校ヲ經由セスシテ辭令書ヲ受ケ其ノ事項ノ履歷上ニ關係アルモノハ其都度届出ツヘシ
- 第二十二條 轉任、免官、休職等ノ際又ハ分課事務ヲ免セラレタルトキハ取扱事務ニ關スル書類及物品ノ引繼ヲナスヘシ

三 當直者ノ服務

- 第廿二條 當直勤務ハ事務當直及寮當直トス
- 第廿三條 生徒課勤務以外ノ書記、雇員及事務囑託ハ輪番ヲ以テ事務當直ニ服スヘシ
- 生徒千勤務ノ判任教官(又ハ之ニ準スル者)、書記、雇員及事務囑託ハ輪番ヲ以テ寮當直ニ服スヘシ
- 第廿四條 生徒主事ハ必要ニ應シ臨時寮ニ當直スヘシ此ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ當直者ヲ除番ス
- 第廿五條 當直時間ハ平日ニ在リテハ執務時限ノ終ヨリ翌日ノ執務時間ノ始又ハ之ニ相當スル時限マテトシ休日ニ在リテハ執務時限ノ始ニ相當スル時限ヨリ翌日ノ執務時限ノ始又ハ之ニ相當スル時限マテトス
- 第廿六條 左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ當直ヲ免ス
 - 一 出張中、出張前日、出張先ヨリ歸校ノ翌日
 - 二 賜暇中
 - 三 忌引中

- 四 疾病其他ノ事故ニ由ル缺勤中
 - 五 新任者着任ノ日ヨリ七日間
 - 六 以上ノ外學校長ニ於テ除番スヘキ必要アリト認メタルトキ
- 第廿七條 事務當直者ノ任務ハ概ネ左ノ如シ
- 一 校舎各室ノ鎖ヲ管守鑰スルコト
 - 二 校舎内外ノ取締ヲナスコト
 - 三 接受シタル物件ヲ處理スルコト
 - 四 火災ノ虞アル場所并ニ器物ニ對シ特ニ注意スルコト
- 第廿八條 寮當直ハ寄宿寮ノ管理取締ニ任シ寮内一切ノ事務ヲ執ルヘシ
- 第廿九條 當直者ハ勤務中學校ヲ離ルルコトヲ得ス
- 第三十條 當直者ハ其ノ任務ニ關シ互ニ助力ヲ求ムルコトヲ得
- 第卅一條 當直中非常事故アルトキハ之ヲ學校長ニ急告シ且臨機ノ處置ヲナスヘシ
- 第卅二條 當直ノ服務ニ關スル細目ハ事務當直ニ在リテハ庶務課長寮當直ニ在リテハ生徒課長之ヲ定ムヘシ

四 學校醫ノ服務

- 第卅三條 學校醫ハ左ノ事務ヲ擔任ス
- 一 學校衛生ニ關スルコト
 - 二 生徒ノ疾病治療ニ關スルコト
 - 三 身體検査及身體検査票ニ關スルコト
 - 四 寄宿寮附屬室ノ整理ニ關スルコト
 - 五 生徒ノ病類別患者月表及年表ヲ調製シ月表ハ翌月五日年表ハ次年度四月十五日限り之ヲ學校長ニ差出スコト
- 第卅四條 學校醫ハ所定ノ日時ニ出校執務スヘシ但シ必要アルトキハ臨時出校執務スヘキモノトス
- 第卅五條 疾病其他已ムヲ得サル事故ニ由リ缺勤スルトキハ相當ノ代人ヲ出校セシムヘシ此場合ニ於テハ其ノ氏名ヲ届出ツルモノトス
- 第卅六條 學校醫ハ衛生上必要ト認メタル事項ニツキ學校長ニ具申スヘシ

九 圖書規程

第一章 總則

- 第一條 本校所有ノ圖書ハ總テ之ヲ書庫ニ藏ス
- 第二條 書庫ニハ本校所有ノモノノ外他ノ委託ニ係ル圖書ヲ保管スルコトアルヘシ
- 第三條 教務及事務上特ニ必要ノ圖書ハ學校長ノ許可ヲ得テ特別ノ場所ニ備ヘ置クコトヲ得
- 第四條 圖書ヲ閱覽スルコトヲ得ル者ハ本校職員、舊職員、生徒並ニ第二條ノ圖書委託者其ノ他學校長ノ特許ヲ得タルモノニ限ル
- 第五條 本校職員ハ學校長ノ定ムル所ニヨリ本校所藏ノ圖書ヲ借受クルコトヲ得
- 第二章 貸出
- 第六條 各學科主任ハ参考上必要ノ圖書ヲ借受ケ之ヲ教官室、職員閱覽室及各特別教室ニ備付ケ該科教官ノ共用ニ供スルコトヲ得
- 第七條 各課ニ於テハ事務上必要ノ圖書ヲ借受ケ之ヲ事務室ニ備付ケ該課事務員ノ共用ニ供スルコトヲ得
- 第八條 貴重圖書、辭書類並ニ閱覽室備付ニ缺クヘカラサル圖書ハ總テ借出スコトヲ得ス同一ノ圖書ハ一部ノ外借用スルコトヲ得ス

- 第九條 本校職員ニシテ圖書ヲ借出サントスル者ハ自ラ圖書課ニ就キ所定ノ用紙ニ著者名、書名、冊數、番號、氏名、貸出年月日等ヲ明記シ捺印ノ上課員ニ差出スヘシ
- 第十條 教官ニ於テ必要ヲ認メ夏期、冬期、春期休業期間中生徒ニ圖書ヲ借出サシムル時ハ當該教官ノ記名調印ヲ要ス
- 第十一條 借出シタル圖書ハ凡テ他人ニ轉貸スヘカラス
- 第十二條 借出ノ圖書使用終ラハ速カニ返納スヘキハ勿論毎年七月五日迄ニ悉皆之ヲ返納スヘシ尤モ時宜ニヨリ臨時返納セシムルコトアルヘシ又生徒退學若クハ休學セントスル時ハ出願前悉ク之ヲ返納スヘシ
- 第十三條 凡テ借出シタル圖書ハ鄭重ニ之ヲ取扱フヘシ若シ汚損若クハ紛失シタル時ハ速カニ其ノ事由ヲ具シ圖書課ニ届出ツヘキハ勿論自ラ修理又ハ辨償ノ責ヲ負フヘキモノトス
- 第三章 閱覽
- 第十四條 閱覽室ハ職員閱覽室及生徒閱覽室ノ二區ニ分ツ
- 第十五條 職員閱覽室ニ入ルコトヲ得ルモノハ本校職員、舊職員并ニ特ニ學校長

ノ許可ヲ得タルモノニ限ル

第十六條 生徒閱覽室ニ入ルコトヲ得ルモノハ本校生徒ニ限ル

第十七條 生徒圖書ヲ閱覽セントスル時ハ目錄ニ就キ其ノ圖書ヲ檢出シ所定ノ用紙ニ著者名、書名、冊數、番號、年級、氏名ヲ記入シ課員ニ差出シテ之ヲ借受ケ閱覽終ラハ直ニ返納スヘシ

第十八條 閱覽室開閉時限ハ隨時之ヲ告示ス

第十九條 圖書閱覽室ノ閉鎖日ハ左ノ如シ

一 本校所定ノ休日

一 本校臨時休業日

第二十條 閱覽者ハ左ノ各項ヲ守ルヘシ

一 服裝ヲ正スヘシ

二 借受ケタル圖書ハ之ヲ閱覽室外ニ携出スヘカラス

三 借受ケタル圖書ハ之ヲ他人ニ轉貸スヘカラス

四 靜肅ヲ旨トスヘシ

五 喫煙スヘカラス

第廿一條 凡テ借受ケタル圖書ハ鄭重ニ之ヲ取扱フヘシ若シ汚損若シクハ紛失シタル時ハ速ニ課員ニ届出ツヘキハ勿論自ラ修理又ハ辨償ノ責ヲ負フヘキモノトス

第廿二條 圖書ノ種類ニヨリテハ閱覽ヲ禁スルコトアルヘシ

第四章 雜

第廿三條 圖書ノ寄贈又ハ保管ヲ委託セントスル者アル時ハ學校長之カ受否ヲ決定ス

但シ不慮ノ災難ニヨリテ委託圖書ノ損亡ヲ來スコトアルモ本校ハ辨償ノ責ニ任セサルモノトス

一〇 事務當直心得

第一條 當直者ハ勤務ノ始メ左ノ物件ヲ庶務課ヨリ受取り勤務ノ終ニ之ヲ同課ニ返付スヘシ

一 當直名簿

二 當直日誌

三 職員住所簿

四 文書送付簿

五 電信用語符號表

六 郵便切手及端書

- 七 郵便切手受拂簿
- 八 生徒宿所録
- 第二條 宿直中ニ到達シタル文書及發送スヘキ文書ハ假ニ收受、發送ノ手續ヲナシ翌日庶務課ニ之ヲ引續クヘシ翌日休日ナルトキハ交代ノ者ニ引繼クヘシ
- 第三條 收受シタル文書中、學校長宛ノ親展電報並至急親展文書ハ直ニ之ヲ學校長ニ送達シ學校長又ハ學校宛ノ電報並至急文書ハ直ニ之ヲ庶務課長ニ送達スヘシ但シ電報ニハ電信用語符號表ヲ添フルヲ要ス
- 他ノ職員ニ宛テタル文書ハ前項ニ準シテ取扱フヘシ
- 第四條 宿直中郵便物ヲ發送シタルトキハ宛名、差出人名、件名、使用切手ノ種類、量目及金高、電報ノ場合ハ字數、金高ヲ郵便切手受拂簿ニ記入スヘシ
- 第五條 宿直日誌ニ記載スヘキ事項概ネ左ノ如シ
 - 一 月日曜
 - 二 天候及氣温
 - 三 當直職員官氏名並巡視及小使當直者氏名
 - 四 收受郵便物ノ種類及件數
 - 五 來校者氏名並用件

- 六 受付タル電話並用件
 - 七 其他當直中ニ起リタル事件ノ顛末
- 第六條 當直者ハ日没後少クトモ二回校舎内外ヲ巡視シ且適宜傭人ヲ指揮シテ巡視セシムヘシ

第六 職員

獨語	評議員	文學士	石倉小三郎	東京
數學	評議員	文學士	西澤富則	長野
物理學	評議員	文學士	大橋五郎	高知
化學	評議員	文學士	登石善二	大阪
英語	評議員	文學士	原田禮一	岡山
國語	評議員	文學士	白石勉	愛媛
事務當直心得、職員	評議員	文學士	米原弘	島根
	評議員	文學士	原石	
	評議員	文學士	白石	
	評議員	文學士	勉	
	評議員	文學士	愛媛	
學校長	文學士	石倉小三郎	東京	
教授	文學士	西澤富則	長野	
	文學士	大橋五郎	高知	
	文學士	登石善二	大阪	
	文學士	原田禮一	岡山	
	文學士	白石		
	文學士	米原弘	島根	
	文學士	原石		
	文學士	白石		
	文學士	勉		
	文學士	愛媛		

英語	文學士 鳥井匡 熊本
國語及漢文	文學士 澤野章之助 岐阜
歷史	文學士 藤田福太郎 東京
英語	文學士 阿部孝 岩手
漢文	富田健助 栃木
修身、論理	文學士 池浦孝忍 愛知
鑛物及地質、地理	理學士 山内信雄 京都
數學	理學士 五十嵐知雄 新潟
國語	文學士 小倉正 大分
圖書	工學士 村上照造 奈良
修身、心理	文學士 岡本重雄 東京
哲學、修身	文學士 米倉守 福岡
歷史	文學士 中山節郎 山口
英語	文學士 吉川進 高知
物理	理學士 篠崎長之 栃木

評議員 陸軍歩兵少尉

獨語	文學士 古川充二 佐賀
植物及動物	理學士 蒲原稔治 高知
法制及經濟	文學士 壺尻公明 岡山
英語	文學士 德田彌三 三重
化學	理學士 伊勢村壽三 大阪
獨語	文學士 櫻井國隆 新潟
獨語	文學士 壺谷寬 滋賀
生徒主事	理學士 原田禮一 岡山
配屬將校	(兼) 教授 理學士 山内信雄 京都
	(兼) 教授 文學士 米倉守 福岡
教練	陸軍歩兵少佐 竹内安守 石川
體操	飯干強宮崎

劍道	石山熊彦	高知
柔道	浮田壽男	岡山
弓道	(兼) 陸軍騎兵曹長 五百藏正寛	高知
教練	陸軍歩兵特務曹長 中岡延次	高知
植物	吉永虎馬	高知
圖書	牧ヶ野教信	岐阜
心理	文學士 河内二郎	岡山
体操	陸軍歩兵大尉 谷守正	高知
法制、經濟	法學士 山下正	鹿兒島
獨語	博士・アレキサンダー・コンラディ	獨逸人
英語	アンソニー・アロイシアス・フユースト	英國人
書記	收入官吏 和泉陳平	東京
備外國人教師		
講師		

間崎輝之助	高知
陸軍歩兵少尉 小川英一	高知
藤田昇	高知
五百藏正寛	高知
久保武哉	鹿兒島
杉田登利	高知
山崎正巍	高知
楠目竝	高知
吉岡武馬	高知
吉村敏	島根
原實登	高知
陸軍歩兵特務曹長 田中實馬	高知
生徒主事補	
囑託	
雇	

學校醫

學級主任

文科第一學年甲一ノ組	教授	澤野章之助
文科第一學年甲二ノ組	教授	阿部孝
文科第一學年乙組	教授	古川充二
文科第二學年甲一ノ組	教授	池浦孝忍
文科第二學年甲二ノ組	教授	藤田福太郎
文科第二學年乙組	教授	中山節郎

醫學博士 伊勢良男 東京

陸軍歩兵特務曹長 岡林傳高知
陸軍歩兵軍曹 藤田植吉高知

千光士源吉高知
久保久壽高知
橋本清美高知
町田尙久高知

文科第三學年甲一ノ組	教授	小倉正
文科第三學年甲二ノ組	教授	岡本重雄
文科第三學年乙組	教授	壺尻公明
理科第一學年甲組	教授	富田健助
理科第一學年乙組	教授	壺谷寬
理科第二學年甲組	教授	村上照造
理科第二學年乙組	教授	登石善二
理科第三學年甲組	教授	五十嵐知雄
理科第三學年乙組	教授	篠崎長之

學科主任

第一學科	教授	池浦孝忍
第二學科	教授	白石勉
第三學科	教授	藤田福太郎
第四學科	教授	壺尻公明
第五學科	教授	米原弘

第六學科 教授 西澤富則
 第七學科 教授 大橋五郎
 第八學科 教授 石善二
 第九學科 教授 原禮一
 第十學科 教授 山内信雄
 第十一學科 教授 村上照造
 第十二學科 助教授 飯干強

事務分掌
 教務課
 課長 教授 西澤富則
 勤務 教授 村上照造
 課長 囑託 山崎正巍
 生徒課
 生徒主事兼教授 原田禮一

教授兼生徒主事 山内信雄
 教授兼生徒主事 米倉守
 助教授 飯干強
 生徒主事補 久保武哉
 講師 中岡延次
 講師 山谷正
 講師 山下正
 履原實登
 履藤田植吉
 囑託 吉村敏
 教授 大橋五郎
 囑託 杉田登利
 (兼) 楠目茲

庶務課
 課長

圖書課

課長

課長

會計課

主任

教授 白石勉

書記 藤田昇

書記 千光士源吉

書記 和泉陳平

書記 間崎輝之助

書記 小川英一

書記 田中實馬

書記 岡林傳

書記 吉岡武馬

書記 登石善二

書記 篠崎長之

書記 久保久壽

書記 原田禮一

書記 伊勢村壽三

書記 町田尙久

書記 山內信雄

書記 蒲原稔治

書記 橋本清美

書記 近藤駿介

書記 梅津芳三

書記 江部淳夫

書記 野間眞綱

書記 大益次郎

書記 原籍

書記 長崎

書記 岩手

書記 新潟

書記 鹿兒島

書記 栃木

動物、植物及地質、鑛物學教室

第七前職員

就任年月

轉退年月

摘要

氏名

原籍

大正、四

大正、五

解職

近藤

駿介

長崎

大正、四

大正、八

解職

梅津

芳三

岩手

大正、九

大正、十二

死亡

江部

淳夫

新潟

大正、三

大正、三

轉任

野間

眞綱

鹿兒島

大正、九

大正、三

解職

大益

次郎

栃木

官職 講師 講師 校長 教授 講師

大正、九 大正、三 大正、九 大正、四 大正、四

大正、三 大正、三 大正、十二 大正、八 大正、五

解職 轉任 死亡 解職 解職

大益 野間 江部 梅津 近藤

次郎 眞綱 淳夫 芳三 駿介

栃木 鹿兒島 新潟 岩手 長崎

將配書 履 履 賜 講 履 教 教 教 助 囑 助 教 教
 校屬 記 託 師 授 授 授 手 託 手 授 授

十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六
 四正 二正 五正 四正 五正 三正 五正 三正 二正 四正 三正 四正 四正 三正 二正
 四 一 三 四 四 八 三 五 三 三 四 十 四 三 四

二昭 二昭 二昭 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六
 和 和 和 五正 五正 五正 五正 五正 五正 五正 五正 五正 四正 四正
 三 三 一 十 九 五 五 五 四 三 三 三 三 十二 十一

轉補 退官 解履 解履 解賜 解賜 解履 轉任 轉任 退官 解履 解賜 解履 退官 退官

細 藤 森 櫻 野 東 佐 上 金 三 德 桑 胎 三 志
 木 村 木 井 村 吉 竹 石 子 並 久 原 中 宅 水
 哲 武 仁 岩 太 堅 保 光 虎 良 豐 幾 義
 橘 彦 惠 仁 龜 郎 吉 教 介 郎 勝 樹 郎 郎 暉

高知 高知 高知 長野 高知 高知 高知 兵庫 福井 愛媛 高知 高知 高知 兵庫 熊本

履 教 教 講 教 備 履 書 教 教 講 教 助 教 校 書
 授 授 師 師 人 記 授 授 師 授 手 授 醫 記

十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六
 二正 二正 二正 二正 三正 三正 二正 二正 一正 二正 二正 三正 二正 二正 一正
 二 三 三 三 四 一 三 四 十二 三 三 四 一 四 十一

十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六
 四正 四正 四正 四正 四正 四正 四正 四正 四正 三正 三正 三正 三正 三正 三正
 六 五 三 三 三 二 二 一 十 八 八 八 六 四 四

轉任 轉任 退官 解賜 解備 解履 轉任 轉任 轉任 解賜 退官 解履 轉任 解賜 死亡

堅 甲 加 大 フリッツ・エス・ブラッシュ 山 竹 西 鈴 土 岩 岡 和 武 小
 田 斐 藤 新 田 崎 內 田 木 井 崎 林 田 田 山
 武 三 盛 田 茂 鏡 正 卓 唯 孫 廉 鹿 三
 治 郎 一 海 樹 二 一 苗 次 郎 八 驥 之 助 雄 千

高知 東京 廣島 大分 獨逸 高知 新潟 廣島 岩手 廣島 岡山 高知 福岡 高知 長野

校	教	備	教	將	配	雇	校	嘱	助	教	教	雇	教	教	雇	雇
醫	師	人	授	校	屬	醫	託	授	授	授	授	授	授	授	授	授
五	三	四	二	二	十	二	五	三	十	三	十	十	四	三	三	三
和	和	和	和	和	正	和	和	和	正	和	正	正	和	和	和	和
八	四	十一	三	四	四	五	三	九	三	四	六	四	三	五		
六	六	六	五	五	五	五	五	五	五	五	四	四	四	四	四	四
和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和
三	三	三	十二	十二	八	五	五	三	三	三	三	五	四	三		
解	解	退	轉	解	解	解	轉	轉	轉	解	轉	轉	解	解		
嘱	備	官	補	雇	嘱	嘱	任	任	任	雇	任	任	雇	雇		
林	マックス・ウエーデル	梶 沼	熊 本 克 巳	大 野 壽 惠 子	森 木 博 喜	藤 村 哲 彦	窪 田 博	河 内 二 郎	塚 本 義 之	德 永 憲 一	小 松 泰 馬	松 崎 祐 存	岡 村 萬	多 田 綿 緒		
佐 源 次																
長 崎	獨 逸	北 海 道	山 口	高 知	高 知	高 知	高 知	岡 山	兵 庫	京 都	東 京	埼 玉	高 知	高 知		

雇	雇	教	將	配	教	備	雇	教	備	教	雇	教	講	講	校	雇	助
授	授	授	校	屬	師	人	授	授	授	授	授	授	授	授	授	授	手
三	二	十	二	十	二	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	二	十
和	和	四	和	四	和	四	正	正	正	正	正	正	正	正	正	和	五
六	三	七	三	四	四	四	三	一	三	四	五	二	三	三			
四	四	三	三	三	三	三	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二
和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和
三	三	八	八	七	四	三	三	一	十	八	六	四	三	三			
解	解	退	轉	解	解	解	死	死	轉	解	解	退	解	解			
雇	雇	官	補	備	雇	備	亡	亡	任	嘱	嘱	官	雇	雇			
羽 山 直 定	小 松 鐵 喜	松 岡 義 和	足 立 順 市	バツテイ・スミス	西 村 友 吉	ヤコブ・ゲ・ポオネル	赤 松 邦 太 郎	杉 谷 清 澄	淺 井 綱 雄	莊 直 一	河 那 部 吉 雄	内 藤 馬 藏	中 村 忠 六	町 田 實			
高 知	高 知	東 京	兵 庫	英 國	高 知	獨 逸	兵 庫	高 知	愛 媛	岡 山	富 山	岡 山	高 知	高 知			

城 東 山本博哉 高知	城 東 橫川武 高知	東京第四 橫山隆正 東京
第二神戸 和田啓兵庫	第二神戸 若林真次 鹿兒島	高 津渡邊隆次 大阪
京 城 仙波宏愛媛		
文科三年甲組二組 三十五人		
第一東京 秋田正 東京	城 東 井上正三 高知	撫 養潮 洸 德島
第二鹿兒島上原英美 山梨	宇和島 岡本俊雄 愛媛	北 豫 奧島龍雄 愛媛
釜 山 大串俊郎 長崎	城 東 川崎福之輔 高知	城 東 上村鎮威 高知
九州學院 久保實 熊本	東京第六 佐島守夫 山形	松 山 佐伯英二 愛媛
田 邊 佐武文彰 和歌山	大連第一 志賀邦雄 佐賀	日 立 志賀三郎 茨城
城 東 芝崎健郎 高知	三 豐 鹽田安造 香川	天 理 島村規矩夫 高知
津 常保宏一 三重	城 東 白石譽夫 高知	新 宮 關谷誠太 和歌山
城 東 土居重俊 高知	城 東 富田全一 高知	田 邊 那須卯之助 和歌山
富田林 西 邦一 大阪	大 社 錦織透 島根	東京第二 芳賀潔 東京
身 延 馬場武臣 山梨	福山誠之館平井輝男 岡山	京都第二 藤谷俊雄 京都
京 城 藤塚明直 宮城	第二神戸 宮崎輝雄 兵庫	城 東 森田謙一郎 大阪

麻 植 森山正也 島根	專 檢 依岡一郎 高知	
文科三年乙組 三十五人		
北 野 新居秀彦 東京	掛 川 安間忠一 靜岡	土 佐 池澄 高知
高 合 植田馬之助 高知	攻玉社 大石兼敏 鹿兒島	中 津 大新田正人 大分
堺 奥田茂 大阪	福山誠之館河相武 廣島	浮 羽 隈本九矢郎 福岡
高知師範 公文廣嗣 高知	池 田 黒岩胤之 高知	城 北 小松幸次郎 高知
花 園 上甲正繁 愛媛	松 山 鈴木重信 愛媛	城 北 大家金三郎 高知
城 北 高崎昌信 高知	海 南 高田登 高知	城 東 高松嚴 高知
城 北 武井正美 高知	膳 所 竹内逞 滋賀	刈 谷 塚本芳夫 愛知
洲 本 仲野一郎 兵庫	城 北 橋本善介 高知	城 北 濱川金兵衛 高知
山 口 眞野敏夫 滋	東京第四 松崎義人 佐賀	京都第一 水口猪久夫 高知
城 北 森本俊男 高知	城 東 森本治世 高知	城 東 矢野修二郎 高知
海 南 矢野正顯 高知	海 南 山本誠志 高知	土 佐 山脇節人 高知
城 北 吉岡俊夫 佐賀	福山誠之館吉田圭二 廣島	
理科三年甲組 三十三人		

第一神戸	淺野	左乙	兵庫	城	北	小澤潤次郎	神奈川	城	北	岡崎	賢一	高知	
城	東岡林	尹夫	高知	城	東川田	武	高知	土	佐川田	茂	高知		
生	野北川	則敏	大阪	城	北北村	譽猪	高知	城	北公文	勝巳	高知		
修	道後藤	洋六	大分	海	南小松仁美男	高知		村	上近	和雄	新潟		
多	度津	齊藤	一雄	香	川			第二神戸	鹿野	幸彦	島根		
城	東	十	武	義	高	知		土	佐	高橋壽喜	高知		
京都	桃山	高柳	正男	石	川			城	北	中平	桂	高知	
城	北	南	清	士	高	知		城	東	橋本	寬兒	高知	
城	北	細	井	禾	苗	高	知	城	東	前島	俊壽	大阪	
城	東	南	又	雄	高	知		土	佐	安岡	善則	高知	
城	東	山	木	二	勢	松	高知	同志社	林	合成	台	灣	
吉	田	井	關	憲	一	愛	媛	第一神戸	一藤	正人	兵	庫	
城	東	岡	村	一	雄	高	知	豐	中	音	田	正	夫
若	松	大	村	明	福	岡		京都第一	太	田	隆	京	都
理科三年乙類 三十四人													

浪	速	許	琦	玉	朝	鮮	土	佐	黑	川	武	夫	高	知	城	北	下	司	孝	應	高	知		
附	東京	高	師	佐	藤	恒	信	東	京	高	知	工	業	酒	枝	亥	一	郎	高	知	城	北	澤	村
住	吉	柴	谷	利	治	大	阪	本	郷	島	村	彦	猪	東	京	城	北	島	本	光	顯	高	知	
德	島	住	友	文	治	德	島	高	松	橋	祐	彦	香	川	城	瓊	浦	野	口	弘	長	崎		
瓊	浦	朝	長	守	長	崎	土	佐	長	尾	景	二	高	知	城	瓊	浦	野	口	弘	長	崎		
土	佐	泰	親	明	高	知	城	北	秦	親	公	高	知	城	瓊	浦	野	口	弘	長	崎			
城	北	宮	本	孝	男	高	知	青	森	村	上	愛	一	青	森	洲	本	山	岸	治	郎	長	野	
土	佐	山	崎	曉	高	知	小	倉	山	村	正	英	福	岡	城	北	橫	田	潤	高	知			
高	津	吉	岡	節	夫	大	阪																	
文科二年甲類一組 三十九人																								
杆	築	秋	吉	武	城	大	分	南	筑	井	上	五	郎	福	岡	粉	河	梅	田	善	司	和	歌	山
麻	布	岡	信	義	愛	媛		第三神戸	小	關	研	介	長	崎	郡	山	小	原	正	司	奈	夏		
城	東	大	野	克	喜	夫	高	知	城	東	片	岡	藤	高	知	城	北	川	窪	眞	澄	高	知	
九州	學	院	吉	良	一	雄	熊	本	洲	本	里	深	庄	吾	兵	庫	住	吉	澤	村	勉	高	知	
天	城	新	名	紀	夫	香	川	海	南	高	野	義	顯	高	知	北	豫	高	橋	國	次	郎	愛	媛

住吉竹内隆高知	高知商業竹村忠一高知	天理田中喜久男大阪
杵築豊田親徳大分	海南長崎信一高知	土佐中澤洽樹高知
城北中澤啓作高知	城東中澤孝雄高知	城東中島景高知
高松中村一郎香川	海南西村稔高知	海南原田悠夫岡山
金光平井潜岡山	京都第三平口義臣京都	高津藤岡謙二郎京都
堺三木茂二大阪	徳島湊惠人徳島	北野森信成大阪
城東森山慶吉高知	海南矢野城樓高知	海南山崎景剛高知
海南山本盛喜高知	安藝横田久壽吉高知	城東吉川潔高知
文科二年甲類二組		
三十五人		
第二神戸小豆澤孟神奈川	第一東京池内政幸高知	城東池本文雄高知
城東石田道雄高知	倉吉市橋武鳥取	今宮上殿勝見大阪
海南岡林直一高知	富岡大久保良太郎高知	海南片岡芳春高知
佐伯川野博大分	身延木内五郎山梨	鳳木本信次大阪
城東黒岩秀夫高知	城東小松廣高知	三田酒井貢兵庫
城東島田政利高知	撫養庄野麟太郎徳島	安藝仙頭藏高知

城北高見俊一郎高知	城東利岡二郎高知	第二神戸直木力兵庫
平壤林幸三福岡	愛知第一林得壽愛知	北野林博滋賀
高津藤井雪雄大阪	和歌山前田三郎和歌山	第二神戸前田正之兵庫
龍野松本健兒大分	尾鷲宮崎誠一三重	宮津向井富夫京都
城東村井清治大阪	京都第一森口二郎京都	北野安原克已大阪
撫養吉兼弘文徳島	城東吉川熊義高知	
文科二年乙類		
三十四人		
撫養阿部保徳島	京都第一石田秀正京都	佐世保市原直孝高知
城東稻垣正高知	三田小山田政稔兵庫	長野野包國義一高知
園部胡大春台湾	安藝近藤善次郎高知	城東坂井正男高知
和歌山阪口仲六郎和歌山	鹿島坂本秀夫佐賀	岸和田里井陸郎大阪
城北島村吉雄高知	今宮城謙介愛媛	土佐曾和道雄高知
高知師範高石満穂高知	郡山竹田忠正奈良	宇佐武久八洲男大分
三田谷垣健夫兵庫	城東利根常信高知	天理橋本和藏奈良
海南濱川嘉兵衛高知	京都桃山菱木清京都	土佐弘田嘉男高知

身延堀	勇山梨	高津松井	秀夫大阪	中村松平善三郎	高知
膳所三木	正浩滋賀	高松村上	尙治香川	奈良村上	秀造奈良
北野山路	博大阪	湘南吉武	孝一山口	海南和田	正壽高知
海南小關	清明高知				
理科二年甲類 三十九人					
開成朝倉	武東京	德島石川	知男德島	曉星石田	丈夫東京
海南井上	重男高知	城東岩原	一男高知	三田大西	常仁兵庫
城北冲	良威高知	大田角戸	敏亮鳥根	海南川島	富士夫高知
和歌山北代	次郎和歌山	安藝久保	俊吉高知	土佐窪田	壽高知
郡山小中	義香奈夏	北野越賀	正隆兵庫	海草佐々木	孝紀和歌山
安藝重山	養高知	城東島崎	暢夫高知	上田島田	彌一長野
池田竹内	正義德島	海南田村	朋厚高知	今宮富川	健次郎大阪
城東鍋島	寛高知	德島濱口	正勝德島	城東檜垣	貴雄高知
耐久東	祐次和歌山	住吉平島	日出正岡山	京都桃山	平野彰和歌山
中村福井	誠吉高知	立命館	藤波重次福岡	三豐藤村	淳一高知

同志社	瓶子信福鳥	城東堀江	正水高知	海南前田	正之高知
明石	宣尾賢次郎兵庫	城東宮地	正雄高知	大野森	良尙福井
城東	矢野雅康高知	大川山本	利平香川	城東横山	俊造高知
理科二年乙類 三十九人					
德島	赤枝尙岡山	今治秋山	謙一郎新潟	池田内田	茂美德島
長崎	大野恒信長崎	海南小川	温厚高知	柏原荻野	久五郎兵庫
斐田	鎌倉道雄岐阜	土佐蒲原	繁親高知	伊都北村	四郎和歌山
海南	久保暉剛高知	日田桑野	芳雄大分	富岡佐木	山達男德島
修猷館	佐々木節鳥根	住吉柴谷	利成大阪	城東島崎	正四高知
城北	島本睦雄高知	城北須藤	五郎高知	宇和島扇谷	正彦愛媛
安藝	仙頭千秋高知	甲陽高島	平三郎兵庫	大連第二	玉橋茂三東京
府中	中島健高知	海南中村	典夫高知	城東西内	高一郎高知
海南	西澤正光長野	瀧川原	忠人兵庫	中村細木	大三郎高知
今宮	増田正三東京	安藝松岡	巖高知	富岡松浦	基千葉
畝傍	松島眞平和歌山	福山誠之館	三山穂岡山	脇町三好	功德鳥

城東山本	城東森	中村三浦	畝傍平井	北野橋本	海南中田	安藝寺田	生野竹崎	松山清水	海南小原	撫養岡	半田淺田	城北安岡	土佐森田
正淑高知	秀弘高知	武馬高知	政男奈夏	健二大阪	秋生高知	建比古高知	齊美高知	正三山梨	宏高知	清充德島	茂雄愛知	隆一高知	盛祿高知
高知商業	海南森本	福岡光安	天理藤田	千葉長谷川	海南成岡	城東土居	伊丹中倫	灘菅蒲	北野岸本	海南小笠原	西條伊藤	倉吉山本	城東森田
和田四郎	真一高知	義邦福岡	增平北海道	英昭千葉	保昌高知	四郎吉高知	兵庫兵庫	茂兵庫	三郎大阪	嚴高知	直輝愛媛	忠雄鳥取	泰行高知
北野渡邊	城東安田	府中村上	城東藤村	中村東山	海南西村	土佐中島	海南谷岡	小倉竹内	宇治山田	天理小田	旅順第一	膳所行村	城東森本
誠兵庫	勝造高知	輯廣島	敬一郎高知	信彦高知	哲夫高知	曉高知	海南男高知	一雄高知	木村正夫	長典福岡	井上晃	正次郎滋賀	敏夫高知

文科一年甲類一組

三十七人

城南伊藤	門司安立	鳳上野	城東川添	第三神戶	城東隅田	釧路千葉	城東中越	今宮野田	奈夏福岡	今宮堀内	津山村上	城東吉村	海南伊藤
正雄高知	高昉大分	清大阪	英雄高知	春生香川	達人高知	正雄北海道	通雄高知	齋一石川	正毅奈夏	正夫高知	徹郎岡山	圭三高知	正雄高知
	阿波市原	興國商業	城東川村	吳第一	天王寺商	吳第二	岸和田	城東濱田	德島藤川	東京第四	專檢山口	台南第一	阿波市原
	明德德島	岡田重雄	英夫高知	熊野正明	田中俊夫	寺口政憲	中原哲三	義壽高知	勝太郎德島	宮林隆一	政猪高知	西村威人	今宮井上
	今宮井上	第三神戶	高松神崎	土佐栗尾	城東谷相	花園中川	海南西森	海南濱崎	第一岡山	高松宗本	安藝山崎	浪速植田	康大阪
	康大阪	小關剛	正二香川	三郎高知	正夫高知	正三京都	正英高知	四郎高知	別役道雄	保岡山	顯二高知	信次大阪	

文科一年甲類二組

三十六人

文科一年乙類

三十七人

府縣名	文			計	理			計	合計		
	甲	乙	丙		甲	乙	丙				
關西學院	井本	辰一	高知	第三神戶	瓜谷	重敏	兵庫	海南	江淵	建八	高知
土佐	岡崎	葆	高知	撫養	小橋	収	德島	城東	大石	太高	高知
台南第二	河合	茂	香川	北野	久志	本元也	三重	天理	黃彩	淵朝	鮮
安藝	坂本	信雄	高知	土佐	砂川	五郎	高知	海南	谷淵	寬	高知
八幡	富田	和男	福岡	德島	中瀬	忠平	德島	東山	橋本	勘四郎	滋賀
大垣	樋口	裕六	岐阜	城東	平田	千種	高知	海南	弘瀬	良敏	高知
中村	文野	叶	高知	海南	細木	高行	高知	土佐	堀	昌雄	兵庫
大洲	町田	正志	愛媛	伊都	松原	正	和歌山	城北	宮尾	靖	高知
土佐	宮崎	和	高知	城東	山崎	俊龍	高知	富岡	山田	勝郎	德島
小濱	吉井	達郎	福井	城東	西川	堯志	高知	高松	高島	正巳	香川
青森	一			一				一			二
北海道	二			二				二			二

一、生徒本籍府縣別表

昭和八年六月一日現在

府縣名	文一	文二	文三	計	理一	理二	理三	計	合計
岩手									
宮城				一				一	一
秋田		一		一				一	一
山形				一				一	一
福島				一				一	一
茨城				一				一	一
栃木				一				一	一
群馬				一				一	一
埼玉				一				一	一
千葉	二			三				一	四
東京	一			六				二	八
神奈川				一				二	三
新潟		一		一				一	二
富山				一				一	二
石川	一			一				一	二
福井				一				一	二

生徒本籍府縣別表

東	法	仲	次郎	鹿兒島	京	法	鈴木	利茂	高知	京	法	田中	仁志	大阪	
東	經	竹内	正夫	高知	京	經	土居	忠清	大阪	東北	法	文	中尾	朝彦	兵庫
京	法	長峯	賢次	宮崎	京	經	灘	庄之助	大阪	東	經	西村	正志	兵庫	
京	法	信清	浩男	高知	東	經	橋本	高善	高知	東	經	濱田	健夫	高知	
京	法	東野	正光	大阪	東	文	廣野	和藏	宮城	東	法	古谷	保治	和歌山	
東	法	松井	芳房	大阪	京	法	森	駿	愛知	京	經	山口	恒雄	長崎	
京	法	山田	松雄	大阪	死	亡	余田	弦彦	熊本						
理科甲類 三十三人															
京	工	相坂	竹松	大阪	東	工	青木	鍵吉	大阪	九	醫	市村	平八郎	兵庫	
東	理	今西	襄	高知	長	醫	浮舟	忠孝	大阪			臼井	一水	高知	
九	工	門田	益	東京	東	工	川田	正秋	高知	京	工	北川	武彦	山口	
東北	工	葛目	修	高知	死	亡	小島	寛之	高知	東	農	後藤	新	東京	
京	工	河野	敏雄	高知	長	醫	田中	英吉	愛媛	京	文	丹澤	次雄	山梨	
京	經	中村	龜	高知	京	工	西山	忠一	高知	京	理	林	一正	徳島	
東北	理	本莊	光宏	三重	東	工	松村	要	高知	東	工	溝上	銈	高知	

理科乙類

二十七人

京	經	水口	補男	高知	東	工	宮内	敬三	高知	東	農	宮崎	開吉	高知	
九	工	森澤	健太郎	高知	京	工	矢野	正巳	高知	京	工	安倉	利廣	高知	
京	工	大西	惠	徳島	東	工	安並	三男	高知	京	理	山本	廣喜	高知	
京	工	横井	元昭	香川	東	工	吉村	俊雄	高知	東	農	和田	武揚	高知	
理科乙類 二十七人															
岡	醫	明石	新藏	愛媛	京	都府	醫	生澤	藤生	大阪	東北	醫	池	孝義	高知
九	工	市村	東九郎	兵庫	京	醫	植田	謙吉	高知	長	醫	小野	直治	高知	
九	醫	織田	健太郎	高知	金	醫	大原	豊澄	高知	九	工	岡田	元藏	徳島	
京	法	片山	忠	高知	京	都府	醫	革島	貞吉	京都	金	醫	岸本	亮一	岡山
長	醫	公文	適	高知	東北	醫	五味	勝	長野	東	理	島崎	爲道	高知	
新	醫	下村	忠龜	高知	岡	醫	武内	暢	高知	東北	醫	中村	修	岡山	
新	醫	野田	千歳	高知	九	醫	原田	正	徳島			東野	季喜	高知	
長	醫	弘田	克平	高知	金	醫	古川	通貫	徳島	九	醫	松山	喬	福岡	
東北	醫	三浦	公治	兵庫	九	醫	安岡	藤吉	高知	九	醫	安田	等	高知	

二、第二回卒業生（昭和二年三月）百七十五名

文科甲類

七十九人

東	法	安藝	修高知	京	經	青木	昌長	高知	東	經	赤松	一夫	愛媛				
東	經	今井	實高知	京	經	岩崎	尙夫	高知	京	法	上田	知作	高知				
東北	法	文	示野	正夫	山口	東北	法	文	尾形	健作	秋田	京	經	尾崎	千太郎	奈良	奈良
京	文	大久保	秀夫	岡山	京	經	大串	幾雄	德島	東	文	大町	一枝	高知			
九	法	文	楠本	孝一郎	高知	東	法	樫谷	重春	高知	東	法	片岡	義信	高知		
京	經	門脇	昶	高知	京	文	金川	健一	兵庫	京	法	川崎	寅三郎	高知			
東	經	川村	誠一	高知	京	經	木島	辰二	兵庫	東	文	木原	曠	兵庫			
京	經	一柳	順三郎	高知	京	法	近藤	亮爾	高知	東	法	近藤	雄彦	高知			
京	經	佐藤	秀樹	高知	京	文	崔	鳳	守朝	京	法	財津	武士	大分			
東	經	笹部	三郎	兵庫	東	法	塩見	俊二	高知	京	經	島崎	憲一	高知			
東	經	島本	新六	高知	京	文	下村	大	高知	東	法	白濱	金二	德島			
東	法	鈴江	弓弦	高知	東	法	曾我部	正實	高知	京	法	田萬	廣文	香川			
京	經	瀧本	實春	高知	京	經	竹内	武士	福井	京	法	竹内	収二	高知			
京	法	近森	武尙	高知	死	亡	津崎	義節	熊本	東	法	津野	清海	高知			

京	法	鶴	實治	鹿兒島	京	農	鄭	求興	朝鮮	京	經	寺澤	六郎	德島	
東	文	土井	久信	高知	京	法	戸梶	重明	高知	京	文	中原	滋世	德島	
京	文	中山	克己	高知	東	法	西村	正男	高知	東	經	濱田	三雄	高知	
東	法	濱田	彌一	高知	京	法	春名	好文	岡山	京	文	久本	三次郎	德島	
京	法	弘田	裕	高知	東	法	細川	良平	高知	京	法	牧野	太郎	大阪	
京	文	町田	俊雄	愛知	京	經	松本	祐九郎	高知	京	經	水谷	明	大阪	
京	法	宮地	正一	高知	京	法	宮地	忠郎	高知	京	經	宮本	權次郎	和歌山	
東北	法	文	村上	良太郎	愛媛	東	文	森下	歳市	高知	東	文	安岡	清水	高知
東北	法	文	安岡	俊秀	高知	京	經	山口	長三	奈良	東	經	鈴木	敏	大阪
京	文	山邊	知行	福島	京	文	山本	守	高知	東	經	横川	源太郎	高知	
京	法	吉田	芳久	大阪	京	法	劉	萬	台灣	東	經	和田	齊	高知	
京	經	和田	耕作	高知	京	法	和田	収	高知	東	法	若槻	義雄	靜岡	
京	法	渡邊	利通	高知	京	法	渡邊	利通	高知	京	法	渡邊	利通	高知	
京	法	井上	數男	大分	東	法	海路	昌臣	高知	京	文	小島	修	高知	

文科乙類

二十七人

京	文	小幡	義治	石川	京	經	大浦	平	高和	京	法	大江市之助	京都		
東	文	片岡	一重	高知	京	法	喜多	昌治	三重	京	法	笹岡龍太郎	高知		
東北	理	關口	信	千葉	東	文	竹内	弘	高知	京	文	玉林	憲義	山口	
九	法	文	仲田	劍太郎	岡山	東	法	中山	堅吉	高知	京	法	西川	龍起	高知
京	經	野崎	貢三	高知	京	法	森野	夏夫	福井	東	法	平田	六郎	高知	
死	亡	深澤	起	高知	京	經	松村	春夫	京都	東	法	三宅	秀也	兵庫	
東	法	南	政一郎	兵庫	東	經	村上	俊雄	德島	京	文	森川	是隣	愛知	
東	文	山崎	清三	愛知	東	文	山下	正敏	佐賀	東	經	立仙	暹	高知	
理科甲類 三十五人															
東	工	有澤	幸夫	高知	東	農	井上	正明	香川	東	工	伊賀	存和	香川	
京	醫	市川	博信	高知	長	醫	尾立	六三郎	鹿兒島	東	農	大谷	信太郎	大阪	
東	農	片山	良行	香川	新	醫	金川	顯雄	和歌山	九	工	河野	健吉郎	愛媛	
東	工	鎌田	權一	香川	九	醫	清遠	幸彦	高知	東	工	久米	幸朔	高知	
東	文	公文	武彦	高知	九	醫	禰原	康武	香川	東	工	坂本	正武	高知	

東	理	篠	邦彦	茨城	京	工	島野	廣	高知	岡	醫	須藤	吾之助	高知
東	理	曾我部	清澄	高知	京	理	高木	十吉	高知	京	工	地村	巳代治	滋賀
京	法	内藤	俊義	熊本	京	工	西村	敏男	高知	長	醫	畑山	孝行	高知
東	農	前野	正博	高知	京	經	卷幡	樞夫	高知	東北	工	南	善亮	高知
東	農	宮田	經道	鹿兒島	長	醫	森本	勉	高知	九	工	矢野	正記	香川
京	工	横田	正幹	高知	東	理	吉松隆	三郎	高知					
理科乙類 三十四人														
東	理	伊勢村	壽三	大阪	金	醫	伊吹順	一郎	高知	京	理	上島	勝夫	大阪
京	醫	上原	一夫	德島	金	醫	大月	五	福井	岡	醫	大西	晃	高知
東北	醫	河斗	瑛	朝群	東北	醫	革島	史郎	京都	京	醫	坂谷	五郎	奈良
九	農	澤田	喬雄	高知	東北	理	瀬戸	正雄	神奈川	岡	醫	田岡	在久	德島
京	經	田中	敏輝	兵庫	九	醫	高橋	重親	高知	千	醫	竹内	勝	新潟
京	理	玉置	清	大阪	九	工	戸田	務	高知	岡	醫	中内	胤雄	高知
長	醫	中島	通	高知	東	農	成澤	晋	福岡	金	醫	西内	恒喜	高知
長	醫	濱崎	靜雄	高知	京	醫	濱田	三郎	高知	金	醫	早石	萃	京都

京 理 藤永文治郎 德島 別府 常夫 高知 岡 醫 堀 正澄 京都
 千 醫 前田 陽 千葉 九 醫 松崎 秀夫 德島 死 亡 三宅 清七 德島
 京 醫 宮岡 正信 富山 京 醫 宮崎 敏男 高知 九 醫 森澤康二郎 高知
 岡 醫 横山 猛重 高知

三、第三回卒業生(昭和三年三月) 百七十八名

文科 甲類

七十五人

京 法 赤澤 貢 岡山 京 法 新谷規矩夫 福井 九 法 文 荒木 周治 京都
 京 法 安藤 康生 岡山 京 法 井上 徹 岡山 京 文 井上 龍二 鳥取
 東 文 池田 武男 高知 死 亡 石井 忠男 東京 東 法 石破 二朗 鳥取
 京 經 磯部 汀 兵庫 京 法 泉谷 彦治 大阪 京 法 岩井 万龜 高知
 東 法 岩淺 九野 德島 京 經 植田 輝夫 高知 東 法 上山 清兵衛 兵庫
 京 法 白井孝一郎 兵庫 京 法 馬越 通靖 愛媛 京 經 越知 通隆 愛媛
 京 文 尾本 四郎 岐阜 京 法 大野 四郎 高知 東 文 岡崎 和郎 高知
 東北法文 岡村 宏威 高知 京 經 及川 齊 宮城 京 經 加藤 隆市 岐阜
 京 經 貝島 孝 福岡 九 法 文 金澤 一之 德島 京 文 川上 俊鬼 高知

京 農 川崎 勢藏 大阪 京 法 木村 貞吉 和歌山 京 文 北川 清馬 高知
 京 經 古妻 巖 大阪 京 法 斎藤 忠士 福井 京 經 塩澤 和泉 栃木
 東 法 重成 肅 岡山 京 法 篠田 秀世 大阪 京 法 島崎 和駿 高知
 東 文 島野 林藏 群馬 京 經 進藤 富士夫 兵庫 京 法 杉岡 長人 德島
 東北法文 鈴木 久雄 神奈川 東 法 關田 慎一 高知 京 經 曾根 辰雄 大分
 京 法 田井 勇 兵庫 京 法 田口 四郎 德島 東 文 田所 義行 高知
 東 經 田中 久 大阪 東 文 田淵 正範 高知 九 法 文 高田 竹喜 高知
 東 經 竹内 昌一 兵庫 東北法文 橋 忠衛 高知 京 法 張 恒 誠 朝鮮
 京 法 土居 賢一 高知 東 法 土居 哲夫 高知 京 經 戸川 儉二 岡山
 京 法 長尾 猛彦 愛媛 京 法 永瀬 皓 熊本 東 法 中村 公祐 福岡
 京 經 秦 元春 高知 京 經 林 忠一 石川 京 文 前田 正和 兵庫
 京 法 松島 敏雄 長野 東 文 宮田 直視 高知 東 法 目代 眞一 高知
 京 法 森本 修 兵庫 東 法 森山 正 高知 京 法 安岡 桂太郎 高知
 京 法 安岡 一 高知 京 法 安田 稔 鳥取 東 經 山崎潤一郎 高知
 東 文 山田 秀峰 山梨 京 法 山名 良雄 大分 京 文 山本 匡夫 兵庫

九法文	許斐次夫	福岡	大醫	坂本之雄	高知	九醫	貞廣	幸壽	高知
東北醫	澤木淑靜	岡	醫	澁谷三郎	高知	東醫	島本多喜雄	高知	
長醫	田村季郎	高知	九醫	田村平八郎	德島	長醫	高橋光行	高知	
長醫	坪井次郎	岐阜	京城醫	中島弘	高知	京城醫	中田	藤	高知
新醫	長屋一雄	愛知	東北醫	野田浩一郎	熊本	東北醫	原	明治	高知
京經	兵頭武夫	愛媛	滿醫	平野國弘	大阪	東農	廣松一實	高知	
京醫	深瀬正孝	高知	日本醫	藤原紫郎	愛媛	京醫	前田恒丸	高知	
京經	松野武雄	兵庫	岡醫	安岡準三	高知	岡醫	安田健次郎	兵庫	
京城醫	山内敬和	高知							

四、第四回卒業生(昭和四年三月)百六十三名

文科 甲類

六十七人

京法	遠藤利一	静岡	東經	尾崎作太郎	東京	死亡	大石	平長崎	
京經	岡嶋宗一	大阪	九法文	岡本俊彦	福岡	京經	鏡山	貞利	高知
京經	川田豐德	高知	京法	門脇賢一	高知	京法	川久保	辣夫	大阪
東文	黒田久信	静岡	京法	小林重敬	京都	東文	佐竹直郎	高知	
東文	佐藤孝	東京	京法	阪井隆一	京都	京法	島田浩治	兵庫	
京法	白松陸代	静岡	東經	陶山伊平	愛知	東法	杉本伊代	高知	
死亡	田中早苗	高知	京法	田村良作	高知	神商	高井祥平	兵庫	
京經	高井春男	兵庫	東法	高岡真一	德島	東法	高橋國衛	千葉	
京經	土谷秀雄	愛媛	京經	寺地弘三	廣島	京經	土佐敬重	德島	
東法	東條猛猪	高知	京法	中西誠一	大阪	京經	中村敏郎	山口	
京文	中村求	高知	京法	中村良明	和歌山	京法	西村寬	高知	
京文	野田不美男	京都	京法	野々瀬才次郎	德島	京法	野村一夫	岐阜	
東經	萩野茂治	高知	京經	萩森健一	大阪	京法	日野徳松	大分	
東法	牧野純	福井	東文	正木喬	高知	東法	増田潔	静岡	

京	經丸山	高愛知	東	經三木	治信	德島	東	法村松	遠	德島	
京	法森	透和歌山	東	經山崎	稔	高知	東	法山本	陽一	高知	
京	法李景源	朝鮮	京	經和田	憲二	高知	京	法和田	義雄	長野	
京	法脇坂	正夫	兵庫								
文科乙類											
東	文赤松	晴夫	愛媛	京	文安藤	康雄	京都				
東	法緒方	彰一	德島	京	文小野川	秀美	高知				
京	法神田	甫	德島	京	法久我寅之助	大阪	京	法公文	彪	高知	
京	法小柳	義雄	東京	京	法齋藤	宏	新潟	東	文坂本	德松	高知
京	文志賀	傳三	京都	京	經橋	清	高知				
京	法成田	幹一	東京	京	經西山浪太郎	秋田	東	經濱田	德雄	高知	
京	法平川	民夫	宮崎	京	法藤村	慶一	山口	京	經堀	善堯	兵庫
京	法堀内	房雄	奈良	東	法三浦	直彌	高知	東北法文	水野	寛	宮城
京	法藪内	文明	高知	東	文山口	健	長野	東	法山内	王允	大阪
理科甲類											
二十八人											

九	工石田	辰午	愛媛	愛	醫石森	賢一	埼玉	東北工	今井	光雄	兵庫
東北法文	岩佐	英夫	德島	長	醫宇野	又二	京都	京	農白谷	俊一	京都
京	工衣斐	直道	高知	九	工岡添	徳助	高知	東	工岡林	正元	高知
東	工岸	重光	東京	九	工眞田	弘	廣島	東	工白木	只義	高知
大阪工	竹内	春男	愛媛	京	經竹村徳治郎	奈良	京	工蓼原	泰彦	高知	
東北工	長尾	景一	高知	京	農西村	信雄	高知	金	醫信清正	一郎	高知
	橋本	治水	高知		古谷	優	高知	東北理	馬淵	精一	高知
東	農前田	正文	高知	岡	醫宮地	稻吉	高知	東	農宮地	義博	高知
東	農森田	雄夫	大阪	東北理	山崎	重明	高知	大	工吉川	勇	高知
東	農和田	嘉平	德島								
理科乙類											
四十一人											
東北法文	朝倉	斉	高知	東北醫	新井	幹郎	栃木	岡	醫伊賀	安男	岡山
東北醫	伊吹	良夫	滋賀	九	醫飯田	覺	兵庫	九	醫石神	脩	靜岡
京	經今西平一郎	奈良	奈良	京	經内宮	榮次	鹿兒島	京	醫小神	公一	德島
金	醫大久保久男	大阪	岡	醫奥	雅之	兵庫		京	理鍵山	謙吉	高知

岡	醫	川北	良水	高知	大	醫	川村	羊男	高知	河野	利健	高知		
九	醫	木村	尙之	島根	熊	醫	小林	洋二	和歌山	東	農	崎村	茂樹	東京
京	醫	篠原	勝德	島	廣島	文理	田中	正秀	高知	九	醫	高田	勝實	高知
九	醫	竹下	元亮	高知	大	醫	竹村	悟	高知	日	醫	露久志	幹男	大阪
京	醫	西内	巖	高知	長	醫	中村	定八	長崎	慶應	醫	成田	敬太郎	富山
京	農	長谷川	恭治	岡山	新	醫	長谷川	博	愛知	京	法	服部	重次	京都
京	醫	濱脇	建樹	高知	東北	醫	彦坂	節三	愛知	京	農	前田	總六	高知
京	醫	町田	速雄	高知	千	醫	松岡	亮一	鹿兒島	京	醫	森本	正	和歌山
京	醫	山脇	新二	静岡	九	醫	吉川	京惠	高知	京	醫	森本	正	和歌山
東	法	赤木	次郎	大阪	東	法	伊東	猷宗	福島	東	文	池上	健男	高知
神	商	石川	英夫	大阪	東	法	市野	亨	大阪	東	法	岩井	茂利	高知
東	文	岩河守之助	高知	東	文	岩崎	萬喜夫	高知	東	文	岩谷	碩三	鹿兒島	

五、第五回卒業生(昭和五年三月)百六十七名

文科甲類

七十一人

東	文	榎村	巧	兵庫	京	經	太田	德延	高知	東	法	奥原	日出男	岡山	
京	法	片岡	八郎	高知	京	法	金親	不二男	大阪	京	法	河合	正志	岡山	
京	文	河野	好男	兵庫	東	經	川島	哲三郎	高知	九	法	鎌田	庄太郎	千葉	
東北	法	文	喜多	養藏	高知	東	經	木原	呢	兵庫	京	經	小泉	文治	大阪
死	亡	小松	弁次	高知	京	文	米田	三治	奈良	京	經	清水	清	東京	
神	商	植見	榮一	岐阜	東	法	島村	十三	高知	東北	法	文	下村	基	高知
東	法	洲合	充	大阪	東北	法	文	杉本	信哉	兵庫	東	文	關根	三子雄	埼玉
京	經	多田	英男	高知	東	文	田中	優	高知	東	經	田原	五郎	鹿兒島	
京	法	田村	孝	高知	東北	法	文	武内	喜一郎	千葉	京	文	竹村	義一	高知
京	文	玉井	猛次	大阪	台北	文	政	玉真	達雄	高知	京	法	千頭	浩	高知
東北	法	文	津田	幸雄	鹿兒島	東	法	恒石	幸也	高知	京	經	土居	克己	高知
東	法	中澤	義典	高知	京	法	中嶋	寛	大阪	京	文	西田	憲一郎	静岡	
東北	法	文	西野	友彦	高知	東	法	西村	博	高知	東	文	畠中	俊一	高知
東	法	濱田	陽三	高知	京	法	日垣	恒章	大阪	東	文	東川	正夫	高知	
京	經	東野	俊夫	高知	京	經	平井	雅	高知	京	法	平林	茂	兵庫	

東文	平松 日吉 大分	京經	深瀬 利雄 高知	京法	深津 尙 愛知
京法	藤井 正義 大阪	京法	藤元剛三郎 兵庫	京法	細木 八尋 高知
東文	前田 忠夫 高知	京法	慎田武三郎 鳥取	東法	町田 稔 高知
東文	松永 健哉 長崎	京法	丸井 富丸 熊本	九農	宮里 達夫 鹿兒島
東法	村岡 隆智 大阪	東文	山本 正秀 高知	神商	吉川 武男 高知
京法	吉田 寛二 兵庫	京法	渡邊貞之助 栃木		
文科乙類 三十四人					
東法	市川統太郎 栃木	京法	市原 敏雄 高知	東法	糸賀 庸山 梨
東法	植田 一夫 高知	東法	海野 稔 静岡	京法	大石 了 東京
東法	大西 正男 高知	東北法文	大山富士之 静岡	東文	加藤 彦平 愛知
京經	柿木 太郎 大阪	京法	鎌田 巖 高知	九法文	木下 虎一 大阪
東北法文	木村已知春 廣島	京法	岸 熊雄 高知	京法	清重 延儀 德島
東文	小林 三郎 神奈川	東法	佐竹 忠雄 高知	東法	櫻井 直堅 東京
京法	島内 武秋 高知	東文	下村華壽海 東京	京經	生野 精 大分
東法	須藤五三郎 高知	東法	高平 弘 高知	東法	長澤 康 兵庫

台北文政	橋本 泰夫 高知	京經	樋口 次雄 長野	京法	日和崎棟男 高知
神商	福山 稻夫 三重	東法	堀江 悦三 静岡	京法	茂木 順平 栃木
東經	茂木 信平 栃木	京法	森 國夫 香川	森澤 忠 高知	
京法	安岡日出男 高知				
理科甲類 三十二人					
九工	秋友 素身 高知	大醫	井尻 武逸 京都	長醫	岩田 穆 静岡
東北理	内田 虎雄 德島	東農	小原 巖 高知	東工	岡林 俊夫 高知
東工	木原 博 兵庫	東北工	清岡 鐘一 高知	京理	沓掛 紀一 兵庫
東北法文	小松 幹彦 高知	東農	杉本 虔吉 兵庫	東京工大	田中 四郎 高知
長醫	津保外茂男 福井	東北工	坪内 健男 高知	東北醫	徳岡 裕美 高知
京醫	中村 益藏 高知	東理	野島 稔 高知	京理	土生 片樟 大阪
京醫	濱谷 侃 高知	京工	藤田 龍雄 滋賀	藤原 陽 高知	
東工	松本貞次郎 三重	京工	宮内 義男 高知	九工	宮地 貞和 高知
東工	元吉勇太郎 高知	台北理農	守田 富吉 和歌山		
京農	山崎 力 高知	京醫	山崎 英正 高知	東農	山崎 齊 高知

東	工	山本將雄	高知	東	農	吉田達夫	兵庫	東	醫	小笠原今男	大阪
金	醫	市場官司	大分	新	醫	内島盛文	徳島	大	醫	川添利秋	東京
九	醫	小倉登	和歌山	京	農	大井百亮	静岡	九	醫	五藤政美	高知
九	醫	北村眞三郎	高知	京	經	公文悦二郎	高知	京	經	遠田南海雄	高知
千	醫	坂本健次郎	東京	大	醫	坂本義教	高知	九	醫	仙波森高	愛媛
京	工	白島正己	大阪	九	醫	鈴木康輔	熊本	金	醫	谷岡止一	高知
東	農	田路六郎	兵庫	京	經	竹崎重利	高知	金	醫	福辻清作	奈良
九	醫	千頭龍雄	高知	金	醫	野中正衛	高知	長	醫	前原元浦	沖繩
東	醫	安並篤	高知	岡	醫	山崎義節	高知	金	醫	山中英	岡山
千	醫	横地良次	群馬	東	北	醫	吉田甫	東	農	吉間重一	兵庫
六、第六回卒業生(昭和六年三月)百七十六名											
文科甲類 六十九人											
東	法	井上稀有丸	高知	京	法	井狩貞之	滋賀	東	法	伊尾木正憲	高知

東	經	池	正道	高知	京	農	稻葉英二	京都	京	法	岩井享	高知
京	法	宇都宮靜男	大分	東	文	植村郁夫	高知	東	經	上山俊郎	兵庫	
京	文	碓井數明	高知	九	法	文	岩貞貢	高知	東	法	岡軌丸	高知
東	法	岡崎正倫	高知	東	文	岡村景秀	高知	東	文	岡村清顯	高知	
東	經	岡村道德	高知	東	文	片岡一義	高知	京	經	龜井菊夫	香川	
東北	法	文	河野幸雄	高知	京	經	栗田鶴一郎	高知	東	文	小林巖	長野
京	法	神	定雄	茨城	京	經	笹岡一二	奈良	東	文	鹽田保美	高知
東	法	島崎巖	高知	京	經	島村三郎	高知	京	經	白神英夫	岡山	
京	法	杉本哲三	高知	京	經	鈴木喬徳	島	京	法	田上榮	高知	
東	法	田所正幸	高知	東	法	高橋藤一郎	高知	東	文	谷崎勇徳	島	
神	商	寺石安弘	高知	東	文	土居俊次郎	高知	京	文	内藤太郎	兵庫	
京	經	長岡健次	東京	東	法	中川俊郎	兵庫	東	法	中澤良一	高知	
京	法	永田忠造	山口	東	經	仁尾一郎	福岡	東	文	西森善廣	高知	
京	法	野中宏	高知	東北	法	文	野村武男	岐阜	京	法	橋本博	大阪
京	法	橋本幸夫	兵庫	京	法	原海南男	高知	東	文	原口武雄	佐賀	

東	法	平田	威男	高知	東	法	平野	昇	德島	京	文	廣田	孝一	高知
京	經	三好	英造	香川	東	文	松田	國利	高知	京	文	三木	桂	高知
東	文	宮崎	應信	高知	京	經	森	高	高知	東	法	森澤	壽保	高知
京	經	安國	幸恭	兵庫	京	文	柳原	勇	愛媛	東	法	山崎	獅子雄	高知
京	法	山中	俊一	茨城	東	文	吉田	吉二郎	德島	京	法	吉田	富夫	大阪
京	文	吉村	唯吉	高知	東	法	吉本	直定	高知	京	經	脇田	寅三	鹿兒島
文科乙類 三十七人														
東	文	伊野部	重一郎	高知	京	法	石川	朔	愛媛	京	法	一圓	一億	高知
京	經	江口	英一	德島	神	商	小笠原	喜郎	高知	神	商	小栗	勇喜	高知
京	經	大浦	信一	愛媛	京	文	岡林	龜	高知	京	法	楓	俊一	高知
京	經	鎌田	信	香川	東	法	蒲原	英一	高知	京	法	木下	清	兵庫
京	經	楠川	定治郎	福井	東	經	齋藤	精五郎	高知	京	法	清水	洋司	廣島
京	法	高橋	一寸	高知	京	法	高橋	茂樹	廣島	東	法	高橋	勇治	高知
東	法	月岡	重雄	長崎	京	法	筒井	豊次郎	高知	東	文	寺田	良喜	高知

神	商	徳田	和雄	鳥取	神	商	中澤	清	高知	橋本	清一郎	高知		
台北	文政	濱田	薫	高知	京	法	堀	和夫	兵庫	卷	苑	新東京		
東	法	町田	照雄	高知	東	法	町田	又兵衛	高知	東	文	松井	俊夫	三重
京	經	三木	常縁	高知	京	法	三好	政一	香川	京	法	宮崎	謙三	兵庫
東	經	宮地	豊彦	高知	東	經	宗石	理明	高知	東	經	森下	義雄	高知
東	經	矢野	晋太郎	高知										
理科甲類 三十四人														
東北	工	上田	昌稔	高知	東	農	伊藤	和夫	高知	京	文	今村	達	高知
東	農	上島	竹雄	東京	九	工	大橋	耕平	大阪	京	工	大平	章重	高知
東	農	岡崎	壽彦	高知	大	工	岡林	次男	高知	東	工	岡本	貞雄	高知
東	農	岡本	昌幸	高知	京	工	柏井	豊俊	高知	京	工	川田	勝稔	高知
東	理	北岡	龍海	高知	東北	工	佐野	銑太郎	高知	東	理	島崎	悌吉	高知
京	工	杉本	三郎	高知	京	理	仙頭	一郎	高知	大	工	曾和	徳雄	高知
東京	工大	高垣	三郎	和歌山	京	經	高橋	武	愛媛	京	工	種田	敏男	高知
京	農	長野	高明	高知	京	工	中平	一夫	高知	中	道	輝一	兵庫	

死	亡	奴田原	仁	高知	東北理	裕	謙三	和歌山	東京工大	間瀬	眞平	愛知		
岡	醫	松浦	祐一	香川	台北理農	松木	正美	高知	東	農	宮崎	良一	徳島	
東	農	森	明	高知	大	工	山本	勝	徳島	大	工	横山	彪	高知
京	工	吉川	涉	高知										
理科乙類 三十六人														
京	醫	秋山	一雄	高知										
九	農	入交	正豊	高知	岡	醫	宇都宮	三涉	愛媛	金	醫	上田	榮吉	高知
岡	醫	内田	馨	徳島	東北法文	小澤	一郎	神奈川	北大理	岡田	一次	兵庫		
東	農	甲斐	秀郎	熊本	岡	醫	柿澤	達彦	兵庫	岡	醫	木下	直幹	兵庫
九	醫	齋藤	精一	徳島	東北理	田島	治兵衛	長野	九	醫	伊達	長雄	和歌山	
京	農	玉田	和夫	京都	京	醫	寺内	等	徳島	大	醫	中澤	元	高知
九	農	西村	衛	高知	東	農	羽根田	彌太	岐阜					
京	農	東出	準一	三重	岡	醫	藤本	忠雄	廣島	九	醫	松本	專八郎	高知
岡	醫	水沼	道勝	愛媛	新	醫	宮井	梓	長野	京	醫	本山	茂	高知
京	醫	森木	道男	高知	東	農	森田	朋喜	高知	京	醫	森本	昌	高知

七、第七回卒業生（昭和七年三月）一五八名

文科甲類

六八名

京	理	山口	秀吉	大阪															
九	醫	吉村	欽二	高知	九	農	李	起	仁	朝鮮	大	阪	醫	和	田	秀	雄	兵	庫
文科甲類 六八名																			
東	法	阿部	才三	熊本	京	經	有川	一郎	滋賀	京	法	伊藤	幾久	雄	東京				
京	法	伊藤	一郎	京都	京	法	石田	今朝夫	愛媛	京	文	石松	盤	根	福	岡			
京	法	今西	五郎	高知	東	法	宇田	俊平	高知	東	文	上野	一郎	大阪					
神	戸	商	大	内田	平八郎	愛知	京	法	梅本	敬二	徳島	東	文	江湖	山	恒	明	愛媛	
京	經	太田	馨	愛知	京	法	大塚	一也	愛知	東	法	大西	正助	高知					
東	經	奥原	可也	岡山	東	法	掛谷	力太郎	廣島	東	經	柏木	希一	兵庫					
京	經	金田	宇多夫	和歌山	京	法	川澤	宗一	高知	京	文	川人	茂市	徳島					
九	法	文	河野	健三	大分	東	法	公文	茂治	高知	東	法	倉本	幸治	高知				
東北	法	文	黒田	二郎	兵庫	京	文	小西	貫一	愛媛	東	法	小松	貫	高知				
京	經	小松	武四	高知	京	經	佐々木	榮三郎	高知	東北	法	文	佐竹	俊男	高知				
京	法	齋藤	誠	奈良	京	法	酒井	欽郎	東京	京	經	鹽見	悦太郎	兵庫					

京	法	島崎銳次郎	高知	東	法	眞明	俱雄	高知	京	文	須藤	信雄	高知			
京	法	隅田健彦	高知	京	文	瀨木	忠夫	京都	東	法	田中	五郎	京都			
京	經	田中良三	京都	東	法	田村	眞一	高知	京	經	竹内	照藏	兵庫			
京	文	竹崎剛	高知	京	文	谷淵	梅龜	高知	東	法	千頭	正	高知			
京	法	土居傳	高知	東	經	戸澤	芳郎	東京	京	文	中川	肇	廣島			
東	法	野村大三郎	高知	京	法	濱川	利城	高知	京	法	東村	正夫	高知			
東	法	福田義郎	高知	東	法	藤田	正男	高知	京	法	保壽	重博	大阪			
京	法	細川竹男	高知	東	文	松岡喜代志	三重	京	京	法	松島	英夫	兵庫			
京	法	松田源一	高知	東	文	御莊	直	高知	京	經	村瀨	信一	大阪			
京	法	森下	高知	東北法文	森田	博彦	高知	京	京	法	安岡	發志	高知			
東北法文	安岡	正文	高知	東	文	山田	廣海	奈良	京	法	柳瀨	益豐	高知			
東	文	吉井	武繁	愛媛	京	經	吉田	運一	島根	東	法	石建	松夫	高知		
京	法	井上	武延	兵庫	台北文政	飯田	修二	靜岡	東	法	岸上	榮松	高知			
東北法文	遠藤	武雄	福島	尾立	一郎	高知	京	法	岸上	榮松	高知	京	法	岸上	榮松	高知
文科乙類 三〇名																

京	法	北浦邦一	大阪	京	法	久保田義夫	高知	東	法	公文	忠雄	高知
京	經	高野常二	埼玉	東	經	近藤清二	埼玉	東	文	近藤久壽治	高知	
京	法	末久正道	高知	東	文	高橋義孝	東京	京	法	瀧石	豐稻	高知
京	法	葛川愛城	香川	東	經	永野正夫	高知	京	法	二宮	眞澄	愛媛
京	經	野島賀明	高知	東	文	馬場俊喜	高知	京	法	原田	一隆	大分
京	法	久永榮一郎	高知	京	經	兵頭俊彦	愛媛	東	法	深瀬	晃	高知
東	經	福田篤二	長崎	東	文	町田尙友	高知	京	法	溝淵	龍也	大阪
京	法	宮内義三郎	愛媛	京	法	森田正文	大阪	九	法	山崎	次昭	京都
理科甲類 三二名												
京	工	秋山二郎	東京	京	工	井上友一郎	高知	東北	工	池	三郎	高知
東	農	上田滋	高知	東	農	大西英郎	高知	九	工	北野泰次郎	和歌山	
京	工	北村幸藏	高知	京	經	久保賢一	高知	東	工	桑原	正司	高知
東	工	小嶋忠久	栃木	京	工	小林健三郎	高知	京	工	佐木山又男	德島	
京	工	佐野孝雄	高知	京	工	島崎隆三	高知	東	農	鈴木誠次郎	靜岡	
京	工	田内俊	高知	金	醫	武田貴美	德島	京	經	谷	幹彦	德島

東北法文	津田 忠雄	京都	大工	西内茂理次	高知	東理	野村 種吉	高知
京農	平林 俊一	和歌山	長醫	藤田 忠人	栃木	東理	松木 健一	高知
九工	宮地 利春	高知	東工	森澤 正人	高知	京農	森下 正明	高知
京工	矢田 一島	根	大醫	山崎重一郎	高知	東工	山崎 正盈	高知
大工	横山 治彦	高知	京工	吉村二三雄	高知			
	理科乙類		二八名					
岡醫	朝田 直猪	高知	大醫	井上 尙美	大阪	九工	市川 弘文	静岡
九醫	入交 忠雄	高知	京醫	宇賀 勇男	高知		大竹 正之	岐阜
法政大	木村 孝夫	徳島	岡醫	吉良 良吉	高知	東農	公文 幸雄	高知
東北醫	黒瀬 正敏	高知		桑原五八郎	熊本	熊醫	佐野 一良	高知
九醫	島村 雅從	高知	京農	杉本 肇	高知	大醫	中山 次郎	徳島
死亡	西村光之助	高知	東農	西山 實光	高知	大醫	野木 一雄	京都
岡醫	野口 茂久	高知	金醫	野中 傳	高知	九醫	久 正男	高知
東農	堀 芳雄	青森	東農	宮崎 太郎	高知		村松 謹二	群馬
岡醫	森本 正浩	高知		森本 幸男	高知	北理	山脇 正人	高知
	李昌根	朝鮮						

八、第八回卒業生(昭和八年三月)一六六人

文科甲類

六十八人

東文	井上 清	高知	神商	入交 正虎	高知	京法	石崎 直史	奈良
	市川富士雄	長崎	京法	江見 康夫	岡山	東法	植田 忠夫	高知
京法	岡林 正一	高知	京法	岡村 忠雄	高知	京文	小野 長雄	高知
東文	岡山 丑雄	東京	京法	岡村 忠雄	高知	東法	岡本 定一	岡山
	川田 哲幸	高知	京法	香川 正一	香川	東法	嘉戸 弘	徳島
京法	黒川 元彦	愛媛	京經	上岡爲太郎	高知	京商	久保田丈夫	高知
京法	小松 巖	高知	京經	兒玉次郎太	兵庫	神商	五藤 豪	高知
京法	佐藤 英一	愛知	京文	甲田 博史	大阪	京法	佐伯 忠義	兵庫
京文	島田 全	高知	京文	笹原 邦彦	福岡	東經	澤野 太郎	静岡
京法	新庄健次郎	長崎		島本 嘉年	高知	京法	下元 隆	高知
	多田 勳	高知	京法	杉本 正道	高知	京法	關口 馨	千葉
神商	竹崎 一	高知	京法	多田 貞資	高知	京法	高山 忠雄	東京
			京法	谷原 長生	徳島	京法	土橋 芳數	長野

昭和八年	六八	△三一	△九九	三五	三二	六七	△一六六
計	×△五六八 一六	△二五一	×△八一九 一七	二六五	△二六三 三	△五二七 三	×△一三四 一〇六

備考 △ハ朝鮮人×印ハ台湾人ニシテ内數ナリ

第九 關係法規

一 高等學校令

(抄) (大正七年勅令第三百八十九號)

高一條 高等學校ハ男子ノ高等普通教育ヲ完成スルヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ充實ニカムヘキモノトス

第七條 高等學校ノ修業年限ハ七年トシ高等科三年尋常科四年トス

高等學校ハ高等科ノミヲ置クコトヲ得

第八條 高等學校高等科ヲ分チテ文科理科トス

第九條 高等學校ニハ高等科ヲ卒リタル者ノ爲ニ專攻科ヲ置クコトヲ得

其ノ修業年限ハ一年トス

專攻科ヲ卒リタル者ハ得業士ト稱スルコトヲ得

專攻科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二條 高等學校高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校尋常科ヲ修了シタル者中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十三條 高等學校ノ生徒定數ハ高等科四百八十人以内尋常科三百二十人以内トス

第七條第二項ノ高等學校ニ在リテハ專攻科ヲ除キ六百人以上トス

第十四條 高等學校ニ於テハ同科同學年ノ生徒ヲ以テ學級ヲ編制スヘシ一學級ノ生徒定數ハ四十人以内トス

第十五條 高等學校ニ於テハ文部大臣ノ定ムル所ニ依ル學科目ノ種類ニ從ヒ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第十六條 高等學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル高等學校教員免許狀ヲ有スル者タルコトヲ要ス但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

高等學校教員免許狀ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十七條 高等學校ノ設備、編制、學科目及其ノ程度、教科書並生徒ノ入學退學及懲戒、授業料入學等ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第二十條 本令ニ依ラサル學校ノ勅定規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外高等學校ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ高等學校タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用フルコトヲ得ス

附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十七年勅令第七十五號高等學校令及高等中學校令ハ之ヲ廢止ス

舊令ニ依ル高等學校ハ之ヲ本令ニ依リ高等學校トス

前項ノ高等學校ニハ當分ノ内第十三條ノ規程ヲ適用セス

高等學校大學豫科ハ大正十年八月三十一日マテ之ヲ存續ス

二 高等學校規程 (抄)

(大正八年文部省令第八號) 昭和二年文部省令第十八號、第二十八號改正

第一章 學科課程及教科書

第二節 高等科

第四條 高等科文科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、歷史、地理、哲學概説、心理及論理、法制及經濟、數學、自然科學、體操トス
高等科理科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、數學、物

理、化學、植物及動物、礦物及地質、心理、法制及經濟、圖書、體操トス

外國語ハ英語、獨語又ハ佛語トス

第二外國語ハ隨意科目トス

第五條 修身ハ教育ニ關スル勅語ノ趣旨ニ基キ道德上ノ思想及情操ヲ養成シ實踐躬行ヲ獎勵スルヲ以テ要旨トス

修身ハ道德ノ要領ヲ授ケ國家、社會、家族ニ對スル義務並人格修養ニ關シ必要ナル事項ヲ知ラシメ特ニ我國民道德ヲ會得シ其ノ實行ニ務メシムヘシ

第六條 國語及漢文ハ言語文章ヲ了解シ正格且自由ニ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ智徳ヲ啓發シ文學上ノ趣味ヲ養フヲ以テ要旨トス

國語及漢文ハ文科ニ在リテハ近世、近古及中古ノ國文ヲ授ケ進ミテ上古文ノ一般ニ及ホシ又普通ノ漢文ヲ講讀セシメ國語文法及國文學史ノ大要ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

理科ニ在リテハ近世及近古ノ國文並普通ノ漢文ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

第七條 外國語ハ英語、獨語又ハ佛語ヲ了解シ且之ニ依リテ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ兼テ智徳ニ資スルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音、綴字、讀方譯解、話方、作文、書取及文法ヲ授クヘシ

第八條 歴史ハ重要ナル古今ノ事蹟ヲ知ラシメ邦國ノ盛衰、文化ノ發達ヲ理解セシメ特ニ我國運發展ノ由來、國體ノ特異ナル所以ヲ明ニシ國民性格ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス

歴史ハ日本歴史、東洋歴史及西洋歴史ヲ授クヘシ

第九條 地理ハ我國及重ナル世界各國ノ現状ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

地理ハ我國及諸外國ノ政治經濟等ニ關スル地理上ノ智識ヲ授クヘシ

第十條 哲學概説ハ思想界ニ關スル智識ヲ與ヘ哲學ノ概念ヲ會得セシムルヲ以テ要旨トス

哲學概説ハ東洋及西洋ノ哲學、宗教等ニ就キテ其ノ大要ヲ授クヘシ

第十一條 心理及論理ハ心意ニ關スル智識ヲ得シメ思考ヲ鍛鍊セシムルヲ以テ要旨トス

心理及論理ハ各種ノ精神作用、思考ノ原則及其ノ方法ノ概説ヲ授クヘシ

第十二條 數學ハ數理ヲ會得セシメ計算應用ニ熟セシメ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

數學ハ文科ニ在リテハ數學諸論ノ大要ヲ授ケ理科ニ在リテハ代數、立體幾何、

三角法、初等解析幾何、初等微分積分及初等力學ヲ授クヘシ

第十三條 自然科學ハ天然物及自然ノ現象ニ關スル智識ヲ與ヘ其法則ヲ理解セシムルヲ以テ要旨トス

自然科學ハ生物、地質、物理、化學等ニ關スル主要ナル事項ヲ授クヘシ

第十四條 物理、化學ハ自然ノ現象ニ關スル智識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理解セシメ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察工夫ノ力ヲ養フヲ以テ要旨トス

物理ハ力學、物性、音響、熱、光、磁氣、電氣ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

シ化學ハ無機化學及有機化學ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十五條 植物及動物、礦物及地質ハ天然物ニ關スル智識ヲ與ヘ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

植物及動物ハ生物ノ形態、生理、分類、進化ニ關スル智識ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

礦物及地質ハ礦物ノ產狀、性質、用途、地球ノ構成及其ノ變遷ニ關スル智識ヲ授ケ又便宜上主要ナル實驗ヲ課スヘシ

授ケ又便宜上主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十六條 法制及經濟ハ法制及經濟ニ關スル事項ニ就キ國民生活ニ必要ナル智識ヲ得シムルヲ以テ要旨トス
 法制及經濟ハ帝國憲法ノ大要及日常ノ生活ニ適切ナル法制上及經濟財政上ノ事項ヲ授クヘシ

第十七條 圖書ハ形態ヲ正確且自由ニ畫クノ能力ヲ得シメ意匠ヲ練リ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス
 圖書ハ自在畫、平面幾何畫、立體幾何畫ヲ授クヘシ

第十八條 體操ハ身體ヲ健全ニシ動作ヲ敏活ナラシメ剛健ノ精神ト規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス
 體操ハ教練及體操ヲ授クヘシ又劍道、柔道及弓道ヲ加フルコトヲ得

第十九條 文科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語及漢文	六	五	五
第一外國語	九	八	八

學科目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
第二外國語	(四)	(四)	(四)
歷史	三	五	四
地理	二		
哲學概說			三
心理及論理		二	二
法制及經濟		二	二
數學	三		
自然科學	二	三	
體操	三	三	三
計	二九 (三三)	二九 (三三)	二八 (三二)

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一一	一〇	一〇

第二外國語	(三)	(三)	(三)
計	三十一 (三十四)	三十一 (三十四)	三十一 (三十四)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第二十條 理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身		一	一	一
國語及漢文		四	二	
第一外國語		八	六	六
第二外國語		(四)	(四)	(四)
數學		四	四	四
物理			三	講義三 實驗三
化學			三	講義三 實驗三
植物及動物		二	二	講義二 實驗二
礦物及地質		二		講義二 實驗二

心 理	法 制 及 經 濟	圖 畫	體 操	計
	二	二	三	二八 (三二)
			三	二八 (三二)
			三	二八 (三二)

第三學年ノ數學〔二〕及圖書〔二〕ト第三學年ノ植物及動物〔義習二實驗二〕トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選擇セシムルモノトス
第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム
此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語		一〇	九	九
第二外國語		(三)	(三)	(三)
計		三〇 (三三)	三十一 (三十四)	三十一 (三十四)

第二外國語ヲ修メル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第三節 專攻科

第二十一條 專攻科ノ學科目ハ左ノ學科目中ヨリ便宜選擇シテ之ヲ定ムヘシ
國語、漢文、支那時文、外國語、史學、哲學、倫理學、社會學、法律學、政治學、經濟學、數學、物理學、化學、植物學、動物學、礦物學、地質學、天文學、氣象學、應用化學、機械工學、實業ニ關スル科目等

第四節 教授上ノ注意

第二十二條 高等學校ニ於テハ高等學校令第一條ノ趣旨ニ依リ生徒ヲ教育シ殊ニ國民道德ノ充實ニ關聯セル事項ハ何レノ學科目ニ於テモ常ニ留意シテ教授センコトヲ要ス
各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ要ス

第五節 教科書

第二十三條 高等學校ノ教科書ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ但シ

文部大臣ノ檢定ヲ經タル中學校教科書ヲ尋常科ノ教科書トシテ使用スル場合ニ於テハ認可ヲ要セス

第二章 學年、教授日數及式日

第二十四條 學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテトス但シ九月一日ヨリ翌年八月三十一日マテト爲スコトヲ得

第二十五條 教授日數ハ尋常科ニ在リテハ每學年二百二十日以上、高等科ニ在リテハ每學年二百日以上、專攻科ニ在リテハ百九十日以上トス但シ次條ノ場合ニ於テハ此ノ限リニアラス

試驗及修學旅行ニ充ツル日ハ前項ノ日數ニ算入セス

第二十六條 傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第三章 編制

第二十八條 尋常科ニ於テ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ

得ル場合ニ關シテハ中學校ニ關スル規定ヲ準用ス高等科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除ク外學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第四章 設 備

第三十一條 高等學校ニ於テハ校地、校舍、體操場及校具ヲ備フヘシ

第三十二條 校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道德上及衛生上害ナキ所タルヘシ

第三十三條 校舍ニハ教室、事務室其ノ他必要ナル實驗室、圖書室、器械室、標本室等ヲ備フヘシ

校舍ハ教授上管理上衛生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス

第三十四條 校具ハ教授上必要ナル圖書、機械、器具、標本、模型等トス

第三十五條 高等學校ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外左ノ表簿ヲ備フヘシ

- 一 學則、日課表及教科用圖書配當表
- 二 職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表
- 三 生徒學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル表簿及入營延期又ハ徵兵猶豫ニ關スル書類

スル書類

四 試驗ノ問題答案及成績表

五 資産原簿、出納簿經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及圖書、機械器具標本模型ノ目錄

生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學退學ノ事由徵兵事故保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第六章 入學在學休學退學及懲戒

第三十八條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス

第三十九條 當該高等學校ノ豫科ヲ修了シタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先チ之ヲ尋常科ニ入學セシムヘシ

第四十條 他ノ高等學校又ハ中學校ノ豫科ヲ修了シタル者及高等學校ニ於テ國語算術國史地理理科ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リ行フ檢定ニ合格シタル者ハ尋常科ノ入學ニ關シ尋常小學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

第四十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ高等科ノ入學ニ關シ中學校第四學年ヲ

修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

- 一 他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者
- 二 高等學校高等科入學資格試験ニ合格シタル者
- 三 専門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者
- 四 文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
- 五 文部大臣ニ於テ一般ノ専門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

前項ノ資格試験ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十五條 高等學校ニ於テハ入學志願者ニ對シテ身體検査ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ限り入學セシムヘシ但シ當該學校ニ於テ豫科ヨリ尋常科ニ進入シ又ハ尋常科ヨリ高等科ニ進入スル者ニ關シテハ此ノ限ニ非ラス

第四十六條 高等科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有シ且前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

前項入學者ノ學力ハ當該學年ノ程度ニ於テ之ヲ檢定スヘシ

第四十七條 高等學校生徒ニシテ退學シタル者退學シタル時ヨリ一年以内ニ於テ

高等學校ニ入學ヲ志願シタル時ハ同一學年以下ノ學年ニ限り入學ヲ許可スルコトヲ得

第四十八條 高等學校生徒ニシテ他ノ高等學校ニ轉學ヲ志望スル者アルトキハ關係學校長ノ協議ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

第五十條 高等學校尋常科各學年ノ課程又ハ全學科ノ修了ヲ認ムルニハ平素ノ學業成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ

高等學校高等科各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ但シ正當ノ事由アリテ試験ニ缺席シタル者ニ對シテハ平素ノ學業成績ノミヲ考查シテ之ヲ定ムルコトヲ得

試験ハ學校長ノ見込ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得

第五十一條 學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第五十二條 學校長ハ高等學校高等科ヲ卒業シタル者ニハ卒業證書專攻科ヲ卒業リタル者ニハ得業證書ヲ尋常科ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第五十三條 學校長ハ正當ノ事由アリト認メタルトキハ生徒ノ休學ヲ許可スヘシ

第五十四條 學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

書記

生徒主事補

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ受ケ庶務會計ニ従事ス

第十條ノ二 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條ノ三 助手ハ判任トス教授又ハ助教ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ従事ス

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

四 文部省直轄諸學校職員定員令

(抄)

(明治三十五年勅令第九九號 大正十四年四月勅令第一四二號 昭和二年勅令第三六六號改正)

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

校 長	一 人	教 授	三十人	生徒主事	一 人	助 教 授	三 人	書 記	六 人	助 手	一 人	生徒主事補	一 人
高知高等學校	一 人												

五 文部省直轄諸學校校長職務規程

(大正二年部文省訓令號外 大正八年九月號外改正)

- 第一條 校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得
- 第二條 校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得
- 第三條 左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ
 - 第一 教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト
 - 第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト
 - 第三 俸給月額八拾五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト
 - 第四 教官以下ノ内國各地出張ニ關スルコト
 - 第五 教官以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト
 - 第六 講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト
 - 第七 經費中ノ目ヲ流用スルコト
 - 第八 三日以内ノ臨時休業ヲ爲スコト
- 第四條 前條ニ掲ケタル事項ノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

六 帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校雇外國人使用

二 關スル件

(明治二十六年勅令第九十六號
大正九年勅令第七四號改正)

帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長、官立大學長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

七 高等學校高等科入學資格試驗規程

(大正八年文部省令第九號
大正十五年文部省令第七號改正)

- 第一條 高等學校規程第四十三條ノ高等學校高等科入學資格試驗ヲ受ケントスル者ハ年齡十六年以上ノ男子ニシテ身體健全品行方正且現ニ中學校ニ在學セサル者タルヘシ
- 第二條 高等學校高等科入學資格試驗ハ文部大臣ノ指定シタル中學校ニ於テ便宜之ヲ行フ
- 第三條 試驗ハ中學校第四學年マテノ必須各學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ
- 第四條 專門學校入學者檢定規程第七條第二項又ハ大正七年文部省令第三號第六

用ニ關スル件、高等學校高等科入學資格試驗規程

條第二項ニ依ル證明書ヲ有スル者ニシテ試験ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試験ヲ免除ス專門學校入學者檢定規程第八條ニ依リ試験ヲ免除セラル、者ニ付亦同シ

第五條 中學校ニ於テハ高等學校高等科入學資格試験ニ合格シタル者ニ合格證書ヲ交付スヘシ

第六條 高等學校高等科入學資格試験ノ問題答案及成績表ハ五年以上保存スヘシ

第七條 中學校ニ於テハ本令ノ試験ニ付試験手数料ヲ徵收スルコトヲ得

附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年文部省令第七號附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

八 文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試験無効ニ關スル件

(明治三十八年文部省令第十八號)

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試験ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試験ハ無効トス

九 文部省直轄學校外國人特別入學規程

(明治三十四年文部省令第十五號)

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規程ニ依ラス所定ノ學校ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添へ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ

但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニアラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料入學料及授業料ヲ徵収セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則

ヲ設クルコトヲ得

附 則

第七條 本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス在學スル外國人ハ本令ニ依リ入學シタルモノト看做ス

第八條 明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生ニ關スル規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

一〇 高等學校高等科學力檢定規程

(大正十年 文部省訓令號外)

第一條 高等學校高等科學力檢定試驗ハ帝國大學學部又ハ官立大學ヨリ其ノ入學志願者ノ學力檢定試驗施行ノ通知アリタル場合ニ限り高等學校ニ於テ施行ス
試驗ハ二月ニ於テ之ヲ施行ス

第二條 試驗ハ高等學校高等科卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ高等學校高等科ニ入學スル資格ヲ有セサル者ニハ先ツ中學校第四學年迄ノ必修各學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依ル學力檢定試驗ヲ行フヘシ

第三條 試驗ヲ受ケントスル者ハ受験料金五圓ヲ納ムヘシ

既納ノ受験料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第四條 試驗ニ合格シタル者ニハ左式ノ證明書ヲ交付スヘシ

附 則

大學豫科學力檢定規程ハ之ヲ廢止ス

證 明 書

族 稱

何

某

何年何月生

右ハ當校試驗ノ成績ニ依リ高等科何科ノ卒業ト同等ノ學力

アルコトヲ證明ス

年 月 日

何高等學校長位勳 氏

名

校 印

番 號

一一 學生生徒兒童身體檢查規程 (抄)

(大正十年文部省令第十六號 昭和二年文部省令第三號改正)

第一條 學生生徒兒童身體檢查ハ毎年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ但シ止ムヲ得サル場合ハ五月ニ於テ之ヲ施行スルコトヲ得

監督官廳又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ學校醫ニ於テ必要ト認メ學校長ノ同意ヲ得タルトキハ身體檢查ノ全部若ハ一部ヲ臨時施行スルコトヲ得

第二條 身體檢查ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ

學校醫ナキ場合若ハ學校醫カ身體檢查ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

學校職員又ハ他ノ適當ナルモノヲシテ身體檢查ノ一部ヲ助ケシムルコトヲ得

第三條 身體檢查ハ左ノ項目ニ就キ施行スヘシ

- 一 發育(身長、體重、胸圍、概評)
- 二 榮養
- 三 脊柱
- 四 視力及屈折狀態
- 五 色神
- 六 眼疾
- 七 聽力
- 八 耳疾
- 九 齒牙
- 十 其ノ他ノ疾病及異常
- 十一 監察ノ要否

前項目ノ外必要ト認メタル事項ヲ行フコトヲ得

色神檢查ハ在學中一回行ヒタル時ハ其ノ後之ヲ省略スルコトヲ得

第四條 身體檢查ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

一 檢查ノ表記ニハ度ハセンチメートル、衡ハキログラム、ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒテ夫々單位ノ下一位ニ止ムヘシ

二 身長ヲ測定スルニハ足袋靴等ヲ脱セシメ兩踵ヲ密接シテ直立シ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保タシムヘシ又女子ニシテ鬚アル者ハ小桿ヲ鬚下ニ水平ニ挿入シテ測定スヘシ

三 體重ハ著衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ著衣ノ重量ヲ全重量ヨリ除去スヘシ
四 胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂レシメ乳頭ノ水平線ニ沿ヒ普通呼吸ノ終レル時ヲ測定スヘシ乳房ノ下垂セル女子ニ在リテハ乳線上第四肋間ノ水平線ニ於テ測定スルモノトス

五 發育ノ概評ハ別ニ定ムル標準ニ據リ甲乙丙ノ三ニ分ツモノトス

六 榮養ハ甲乙丙ニ分チ其ノ佳良ナルヲ甲トシ不良ナルヲ丙トシ其ノ中間ナルヲ乙トス

七 脊柱ハ正、左彎、右彎、前彎後彎ヲ區別シ彎ニ就テハ凡テ其ノ凸測ニ依リテ前後左右ノ方向ヲ表示スルモノトス其ノ程度ハ之ヲ強弱ノ二種ニ區別シ自己ノ意思ニ依リ容易ニ矯正シ得ルモノヲ弱トシ然ラサルモノヲ強トス

- 八 視力ハ萬國式試視力表ニ就キ兩眼ヲ各別ニ検査シ裸眼視力ヲ記入スヘシ裸眼視力一、〇以上ナルヲ正視眼トス屈折機ノ異常アルモノハ其ノ種別ヲ記入スヘシ
- 九 弱視失明等モ兩眼ニツキ各別ニ記入スヘシ
- 十 色神ハ其ノ異常アルモノニ就キ色盲及色弱ヲ區別スヘシ
- 十一 聽力ハ其ノ障礙ノ有無ヲ検査スヘシ
- 十二 齒牙ハ齲齒ニ就キ検査スヘシ
- 十三 其ノ他ノ疾病及異常ハ検査ノ際發見シタルモノヲ記入スヘシ
- 性皮膚病、腺様増殖症及扁桃腺肥大、「ヘルニヤ」、神經衰弱精神障礙ニ注意スヘシ
- 十三 監察ノ要否ハ検査ノ結果心身ノ健康狀態不良ニシテ學校衛生上特ニ繼續的ニ監察ヲ要スト認ムル者ヲ「要」トシ記入スルモノトス
- 第五條 第一條第一項ノ身體検査ヲ施行シタルトキハ其ノ結果ヲ身體検査票ニ記入シ本人同一種類ノ學校ニ在校中連年之ヲ繼續スヘシ但シ程度ヲ異ニスル學科

- 部類ヲ有スル學校ニ在リテハ其ノ部類毎ニ別票ヲ用フルモノトス
- 第一條第二項ノ臨時身體検査ノ際必要ト認ムル事項ヲ發見シタルトキハ之ヲ身體検査票ノ裏面ニ記入スルモノトス繼續的監察ノ場合亦同シ他校ヨリ轉入シタル者アルトキハ學校長ハ前ノ學校ヨリ其ノ身體検査票ノ交付ヲ受ケ使用スヘシ身體検査票ハ學校長ニ於テ保管スヘシ
- 第六條 身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ノ其ノ結果ヲ本人若ハ其ノ保護者ニ示スヘシ授業免除就學猶豫就學免除休學退學又ハ治療保護矯正等ヲ要スヘキモノアルトキハ本人若ハ其ノ保護者ニ對シテ特ニ注意ヲ與ヘ其ノ他必要ナル處置ヲ取ルヘシ
- 第七條 第一條第一項ノ身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ身體検査統計表ヲ調製シ其ノ年六月限り直轄學校公立私立ノ大學高等學校及專門學校ニ在リテハ文部大臣ニ其ノ他ノ學校ニ在リテハ地方長官ニ報告スヘシ
- 地方長官ハ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ其ノ年七月限り文部大臣ニ報告スヘシ

附 則

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十三年文部省令第四號ハ之ヲ廢止ス

一二 學生生徒兒童身體檢查規程上ノ發育概評決定標準 (抄)

(大正九年文部省訓令第九號
昭和二年文部省訓令第二號改正)

學生生徒兒童及幼兒ノ發育概評ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

一、七年ヨリ十八年マテノ男子七年ヨリ十六年マテノ女子ニアリテハ被檢者ノ身長、體重、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ノ三者カ何レモ左記發育概評決定標準表ニ照シテ當該年齡ヨリ一年々長ノモノ、標準以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セシテ一年々少ノモノ、標準以上ナルヲ乙トシ甲乙何レニモ該當セサルモノヲ丙トス表中ニ掲ケサル年少者ニ關シテハ右ニ準シテ推定スルモノトス

二、十九年以上ノ男子ニアリテハ身長一六〇、六センチメートル體重五三、六キログラム身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ〇、三三四以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セシテ身長一五七、〇センチメートル體重四八、八キログラム身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ〇、三一以上ナルヲ乙トシ甲乙何レニモ該當セサルヲ丙

トス

發育概評決定標準表

年 齡	身 長	體 重	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商
十 六 年 年	一五二、七	四四、五	〇、二九一
十 七 年 年	一五七、〇	四八、二	〇、三〇七
十 八 年 年	一五九、一	五〇、七	〇、三一九
十 九 年 年	一六〇、三	五二、六	〇、三二八

一三 行幸啓ノ節學生生徒敬禮方 (明治四十三年文部省訓令第十八號 明治四十四年訓令第十一號 大正五年訓令第五號改正)

一 武裝携銃ノ場合學校長及職員ハ全隊ノ右翼ニ指揮者ハ各中隊ノ右翼ニ位置シ豫メ劍ヲ銃ニ裝セシメ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車カ中隊ノ右翼約十歩ニ近キタルトキ「捧銃」ノ號令ニテ一齊ニ捧銃ヲナサシメ御車カ中隊ノ左翼約十歩ヲ過キタルトキ元ノ姿勢ニ復シム

御車カ中隊ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

二 武裝セサル場合（女生徒ヲ含ム）
 學校長及職員ハ全列ノ右翼ニ指揮者ハ各組ノ右翼ニ位置シ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ一齊ニ脱帽セシメ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車カ指揮者ノ前ニ達シタルトキ「禮」ノ號令ニテ敬禮セシメ（體ノ上部ヲ約三十度前方ニ屈シ御車ニ注目セシム）「直レ」ノ號令ニテ元ノ姿勢ニ復セシム御車カ組ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長職員及指揮ハ左翼ニ位置ス

附 錄

一 對抗競技ニ關スル申合事項

（昭和四年九月高等學
校長會議ニ於テ協定）

第一條 此ノ申合ニ對抗競技ト稱スルハ他ノ學校若ハ團體ヲ相手トシテ行フ總テノ競技ヲ包含ス
 練習試合ハ之ヲ對抗競技ト看做ス
 第二條 對抗競技ノ相手ハ高等教育ヲ施ス諸學校ニ限ル但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ非ラス
 第三條 原級ニ止マリタル生徒ハ當該學年間コレヲ對抗競技ニ參加セシムルコト

ヲ得ス

第四條 對抗競技ヲ行フ時期ハ定期休業中ニス但シ學校所在地又ハ授業（舉式ヲ含ム）ニ影響ナク往復シ得ヘキ時ニ於テ行フ場合ハ此ノ限リニアラス
 第五條 對抗競技ノ回数ハ前條但シ書ノ場合ヲ除キ同一種類ノ運動ニ就キテハ一學年一回ヲ超ユルコトヲ得ス但シ定期休業中ニ於テ競技地並ニ其ノ沿道ニ於テ行フ競技ハ本文ノ回数ニ算入セス
 第六條 對抗競技ノ爲授業ヲ休止スルコトヲ得ス
 第七條 對抗競技ヲ行フ際入場料ヲ徴収スルコトヲ得ス
 入場料ヲ徴収スル對抗競技ニハ參加セサルモノトス
 第八條 對抗競技ヲ行フ場合ニハ成ルヘク教官ヲ同行セシムルモノトス
 第九條 高等學校間ニ於テ對抗競技ヲ行ハムトスルトキハ關係學校長ハ其ノ時期、場所及方法等ニ就キ豫メ打合ヲナスモノトス

二 學校運動選手及運動競技會ニ關スル協定事項（大正十五年四月十五日參加決定）

（一） 學校運動選手ニ關スル件

學校運動選手ニ關シ定ムヘキ規準少カラスト雖其ノ主要ナル事項ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 一 學校運動選手ハ左ノ各項ニ該當スルヲ要ス
- イ 規律節制ヲ重シシ品性操行ニ非難ナキコト
- ロ 勤勉ニシテ學業成績可良ナルコト
- ハ 落第生若クハ假進級中ノモノニアラサルコト
- ニ 身體健全ニシテ校醫ノ健康証明アルコト
- ホ 職業的競技者ニ非ラサルコト職業的競技者ノ定義ハ當分ノ内國際陸上運動競技聯盟(International amateur athletic Federation)ノ現行規程ニヨル
- 二 左ニ掲クルモノハ學校運動選手タルヲ得ス
- イ 競技會參加ニ關シ氏名學籍年齡ヲ詐稱シ其他學生ニアルマシキ行爲アリタルモノ
- ロ 自己ノ氏名ヲ商品ノ廣告宣傳ニ利用セシメタルモノ
- ハ 謝禮ヲ受ケテ運動競技ヲ指導シタルモノ
- ニ 競技會ニ參加シ入場料ノ分配ヲ受ケタルモノ

ホ 競技練習中ノ食費トシテ平素各自ノ宿所ニ於テ仕拂フ食費ト同額ノ料金ヲ自辨セサルモノ

ヘ 校友會以外ノモノヨリ直接ニ金品ヲ受ケタルモノ

ト 學業ヲ怠リ其他濫リニ缺席缺課スルモノ

チ 停學處分ヲ受ケタルモノ

三 學校長ハ前項(イ)ヲ除クノ外一ケ年ヲ經過シタル後ハ情狀ニヨリ再ヒ學校運動選手タラシムルコトヲ得

四 學校運動選手ハ職業的競技者ト共ニ若クハ之ニ對シ競技スルヲ得ス

五 學校運動選手ハ其ノ學校ヲ代表スルト個人ノ資格タルトヲ問ハススヘテ競技會ニ參加セントスルトキハ學校長ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

(二) 運動競技會ニ關スル件

運動競技會ニ關シ定ムヘキ規準少カラスト雖モ其ノ主要ナル事項ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 一 學校運動選手ノ參加ヲ承諾スヘキ運動競技會ノ種類左ノ如シ
- イ 學校長ニ於テ適當ナリト認ムル學校又ハ各種體育團體ノ主催ニ係ルモノ

- ロ 學校長ニ於テ營利又ハ宣傳ヲ目的トスルニアラスト認ムルモノ、主催ニ係ルモノ
- 二 對抗競技會ハ成ルヘク春季夏季冬季休業中其他學業ニ妨ケナキ時期ニ於テ行フコト（對抗競技トハ一又ハ二以上ノ學校若クハ團體ヲ相手トシテ行フ凡テノ競技ヲ包含ス）
- 三 賞品ハ授賞者ノ氏名及ヒ技目名等ヲ彫刻又ハ記載セル賞狀、賞牌、旗幟、綬章等記念ノ意ヲ表スヘキモノタルヘシ
- 四 競技會主催者ハ賞品ノ寄附ヲ求ムルコトヲ得ス
- 五 競技會主催者ハ公共及ヒ公益團體又ハ特ニ縁故アル者以外ヨリ賞品ノ贈與ヲ受クルコトヲ得ス
- 六 善意ノ寄附ヲ受クル場合ハスヘテ校友會長ニ於テ之ヲ受理スルモノトス
- 七 競技者ハ華美、不體裁又ハ不潔ノ服裝ヲナスヘカラス
- 八 服裝ノ標準ハ左記ニヨル
- 九 陸上競技者ハ四分一袖ノ肌着ト膝頭ノ上約一〇釐ヨリ短カラサル半袴ヲ着用スヘシ

- ロ 野外競走ノ如キ途中水路横斷ヲ要スルコトアルヘキ競技ニ參加スルトキハ必ス黒色ノ半袴ヲ着用スルコト
- ハ 競漕ノ參加者ハ（イ）ニヨルヘキモノトス
- ニ 水泳競技ノ參加者ハ大日本水上競技聯盟ノ規定ニヨル水泳着ヲ着用スルコト
- 六 應援者ハ運動精神ヲ尊重シ左記事項ヲ嚴守スルヲ要ス
- イ 音聲ヲ擴大シ噪音爆音ヲ發スヘキ樂器其他一切ノ物品ヲ使用セサルコト
- ロ 校旗又ハ標旗ノ外一切他ノ旗幟等ヲ携ヘサルコト
- ハ 異様ノ風鉢ヲ爲ササルコト
- ニ 豫メ他ノ會員全部ノ回覽ニ供シ其ノ承認ヲ經タル歌詞曲譜聞聲ノ外卑猥不遜諷刺嘲弄ニ涉ルカ如キ放歌大聲ヲ發セサルコト
- ホ 役員又ハ對手ヲ愚弄侮慢シ若クハ競技ノ進行ヲ妨クルカ如キ所業アルマシキコト
- ヘ 應援費ヲ濫ニ徵収セサルコト
- 七 觀覽者ノ取締ハ應援者ニ對スル規定ニ準シ規律ヲ守ラシムルコト

八 學校運動競技會ハ入場料ヲ徵収セサルヲ原則トス
 九 學校ハ他ノ學校、體育團體其他競技會ヲ開催セントスルモノト互ニ連絡ヲ計
 リ同種類ノ競技會カ頻繁ニナラサルヤウ協定スルコト

三 高知高等學校學友會會規

一名 稱

第一條 本會ハ高知高等學校學友會ト稱ス

二 目的

第二條 本會ハ本校教育ノ趣旨ト相俟テ善美ナル校風ヲ發揚スルヲ以テ目的トス

三 組織、會員

第三條 本會ハ左ノ四種ノ會員ヲ以テ組織ス

- 一 生徒會員 本校生徒
- 一 職員會員 本校職員
- 一 贊助會員 本校卒業生
- 一 名譽會員 本校舊職員

第四條 本會ニハ第二條ノ目的ヲ達センカタメニ左ノ各部ヲ設ク

- 總務部
- 文藝部
- 辯論部
- 劍道部
- 柔道部
- 弓道部
- 野球部
- 庭球部
- 蹴球部
- 競技部
- 漕艇部
- 水泳部
- 山岳部
- 卓球部

第五條 會員ハ各部ノ部員タルコトヲ得ルモノトス

四 役 員

第六條 本會ニハ左ノ役員ヲ置ク

- 一 會長 一名 學校長ヲ推戴ス
- 一 副會長 一名 首席教授ヲ推戴ス
- 一 理事 二名 教官中ヨリ會長之ヲ委囑ス
- 一 部長各一部 一名 教官中ヨリ會長之ヲ委囑ス
- 一 庶務主任 各一名 職員會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
- 一 會計主任 各一名 職員會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
- 一 總務 二名 文科理科毎ニ各一名トシ生徒會員之ヲ互選ス
- 一 部委員 各部二名 (總務部ハ五名) 生徒會員之ヲ互選ス但シ總務部委員ハ第一學年各組ヨリ一名ツツ互選ス
- 一 學級委員 各學級二名 各學級正副總代ヲ以テ之ニ充ツ
- 一 會計調査委員 五名 中二名ハ教官中ヨリ三名ハ學級委員中ヨリ會長之ヲ委囑ス

第七條 生徒役員ハ會長ノ承認ヲ得タル者ヲ以テ之ニ充ツ

第八條 本會役員ノ任務左ノ如シ

- 一 會長ハ會務ヲ統裁シ役員會ノ議長トナル
 - 一 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ會長代理ヲナス
 - 一 理事ハ會長ノ命ヲ受ケテ會務ヲ處理ス
 - 一 部長ハ各々其ノ部ノ事務ヲ管理ス
 - 一 會計主任及庶務主任ハ理事ノ指揮ヲ受ケ會計及庶務ニ關スル事務ヲ擔當ス
 - 一 總務ハ總務部長監督ノ下ニ本會全体ニ關スル事務ヲ處理ス
 - 一 部委員ハ部長監督ノ下ニ其ノ部ノ事務ヲ處理ス
 - 一 但シ總務部委員ハ總務ヲ補佐スルモノトス
 - 一 學級委員ハ各々其ノ級ニ關スル事務ヲ處理ス
 - 一 會計調査委員ハ會計調査ヲナシ之ヲ役員會ニ報告ス
- 第九條 生徒役員ノ任期ハ毎年一月一日ヨリ十二月末日迄トス
- 但シ學級委員ニ限り毎年四月ヨリ翌年三月迄トス
- 役員中會長ノ委囑スル者ニアリテハ每學年ノ始メニ於テ之ヲ委囑シ選舉ニヨルモノニアリテハ毎年十一月中ニ於テ之ヲ改選ス但シ重任スルコトヲ得

第十條 生徒役員中缺員ヲ生シタル時會長委囑ニヨルモノニアリテハ會長委囑ニヨリ選舉ニヨルモノニアリテハ次点者ヲ以テ直ニ之ヲ補缺ス但シ其ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

五 役員會

第十一條 役員會ハ會長之ヲ召集ス

第十二條 役員會ハ毎年二回二月及五月ニ之ヲ開ク

但シ其ノ必要ヲ生シタル時ハ臨時ニ之ヲ召集スルコトアルヘシ

第十三條 役員會ニ於テ議スヘキ事項左ノ如シ

一 豫算ノ編成

一 決算ノ承認

一 其他重要事項

第十四條 會長ハ特ニ必要ト認メタル時ハ役員外ノ會員ヲ會議ニ列席セシムルコトヲ得但シ票決ニ加ハラシメス

第十五條 役員會ハ役員ノ半數以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第十六條 役員會ノ議決ハ出席役員ノ過半數ヲ以テ之ヲ定ム可否同數ナル時ハ議

長ノ決スル所ニヨル

第十七條 決議ノ事項ハ會長ノ認可ヲ經テ効力ヲ生スルモノトス

第十八條 本會規ノ改正ハ役員會ノ決議ヲ經テ會長ノ認可ヲ經ルヲ要ス

六 全會員懇話會

第十九條 校風發揚ニ資スルタメ總務部主宰ノ下ニ全會員懇話會ヲ開クコトヲ得

七 會計

第二十條 本會ノ費用ハ會員ニ於テ負擔スルモノトス

第二十一條 職員會員ハ全体トシテ應分ノ金額ヲ寄附スルモノトス

第二十二條 生徒會員ノ會費ハ左ノ二種トス

一 入會金 五圓

二 一般會費 參拾圓

三 納入方法 入學ノ學年中ニ於テ左ノ如ク分納スルモノトス

四月 拾五圓及入會金五圓

九月 拾圓

一月 五圓

第二十三條 生徒會員入會金總額ノ三分ノ一ハ之ヲ基本金トシテ蓄積シ三分ノ二ハ特別事業ニ充ツルモノトス

第二十四條 本會ニ於テ端艇建造費トシテ毎年金四百圓ヲ積立ツルモノトス
第二十五條 總テ各部ノ支出ハ豫算ノ範圍ヲ超過シテナスコトヲ得ス

若シ豫算ノ範圍ヲ超過シタル場合ハ各部ニ於テ其ノ責ニ任スヘキモノトス
第二十六條 剩餘金ハ會計年度末ニ於テ之ヲ基本金中ニ繰入ルルモノトス

第二十七條 本會ノ會計年度ハ毎年四月ニ始マリ翌年三月ニ終ル
第二十八條 各部豫算及決算ハ之ヲ本會雜誌ニ掲載スルモノトス

第二十九條 會長ハ會計主任庶務主任ニ對シ毎年末ニ於テ適宜ノ報酬ヲナスコトヲ得

第三十條 本會規中第二十二條ノ改正ヲナサントスル場合ハ特ニ役員總數三分ノ二以上出席スルニアラサレハ議事ヲ開クコトヲ得ス

出席役員三分ノ二以上ノ多數ヲ得ルニアラサレハ改正ノ議決ヲナスコトヲ得ス
前項ニヨリ設定セラレタル會規ハ施行ノ日ヲ以テ全會員ニ其ノ効力ヲ生ス

第三十一條 會員ハ何人ニ對シテモ本會ノ事業ニ關シテ寄附ヲ要ムルコトヲ得サ

ルモノトス

第三十二條 本會ニ對シ金品寄附ヲ申出ツル者アルトキハ會長其ノ受否ヲ決定ス
寄附金ハ費途ヲ指定シタルモノヲ除キ其ノ費途ハ會長ノ定ムル所ニヨル

附 則

第三十三條 本會規ノ施行ニ付キ必要ナル細則ハ別ニ之ヲ定ムルモノトス

細則ハ本會全般ニ關スル事項ニ就キテハ役員會之ヲ審議シ各部ニ關スル事項ニツキテハ各部役員之ヲ審議シ夫々會長ノ承認ヲ經ルモノトス

第三十四條 基本金ハ總額金壹萬圓ニ達スル迄之ヲ使用スルコトヲ得ス
前項ノ金額ニ達シタル時ハ役員會ノ決議ヲ經テ其ノ利子ヲ使用スルコトヲ得

第三十五條 生徒會員卒業ノ場合ハ金壹圓五拾錢ヲ寄附スルモノトス
前項ノ寄附金ハ之ヲ卒業寄附金ト稱シ遠征應援費等ニ充ツルモノトス

四 高知高等學校同窓會會則

第一條 本會ハ高知高等學校同窓會ト稱ス

第二條 本會ハ會員相互ノ向上親睦ヲ圖リ併セテ母校ノ發展ニ貢獻スルコトヲ以